



消防 救急 119 警察 110

日高川町役場 ☎0738-22-1700

中津支所 ☎0738-23-9503

美山支所 ☎0738-23-9505

寒川出張所 ☎0738-58-0001

日高広域消防事務組合 消防本部

☎0738-63-1119

日高広域消防事務組合 中津出張所

☎0738-54-1119

御坊警察署 ☎0738-23-0110

家族の緊急連絡メモ

家族が離れ離れ
になった場合

集合場所

連絡先(電話番号)

家族の名前	勤務先・学校等	連絡先(電話番号)	家族の名前	勤務先・学校等	連絡先(電話番号)

防災わかやまメール配信サービス

気象情報、河川水位情報、雨量情報、避難情報などを携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするサービスです。無料で登録できますので、ぜひご利用ください。



下記アドレスに、そのままメールを送信してください。件名・本文は不要です。右の二次元コードをスマートフォンで読み込んでメールを送信することも可能です。

regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp

*登録を行う前に、「bousai.pref.wakayama.lg.jp」ドメインからのメールを受信できるように設定してください。

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

1 7 1 にかけて、利用ガイドに従い、伝言の「録音」「再生」を行ってください。

早めの避難があなたの命を救います！

*避難情報が出ていなくても、大雨警報が発令されたり、周辺地域で避難情報が出たときには、自主的に避難準備をしましょう。

*避難情報が出たときには、危険な場所にお住まいの方はすみやかに避難しましょう。夜間、雨の中を歩く速度は1時間で1.5km~2kmが目安となります。お年寄りや子供が一緒のときはさらに時間がかかります。

*町役場などからの避難の呼びかけは、雨戸や風雨の音で聞こえにくい場合があるので、注意しましょう。

発行 日高川町

〒649-1324 和歌山県日高郡日高川町大字土生160番地

TEL.0738-22-1700 FAX.0738-22-8779

HP ☎ http://www.town.hidakagawa.lg.jp/

令和4年3月発行

令和3年度
保存版

日高川町 土砂災害 ハザード マップ

目次

- 1. 土砂災害を知りましょう 1
- 1.1 土砂災害はどういう危害を及ぼすのか 1
- 2. 土砂災害からの避難方法 2
- 2.1 避難 2
- 2.2 土砂災害からの逃げ時について 3
- 2.2.1 提供される様々な情報について 3
- 2.2.2 情報の伝達経路と取得する手段 3
- 2.2.3 周辺の異常を監視しましょう 4
- 2.3 避難に向けた備え 5
- 3. Q&A 7
- 4. 避難所一覧(土砂災害) 11

土砂災害ハザードマップ索引図 13

1. 土砂災害を知りましょう

1.1 土砂災害はどういう危害を及ぼすのか

土砂災害とは、大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりすることによって尊い命や財産が脅かされる、自然の災害です。主なものとして「急傾斜地崩壊による災害」、「土石流災害」、「地すべり災害」などがあります。

急傾斜地崩壊による災害

地面にしみ込んだ水分で土の抵抗力が弱くなり、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる、急な斜面で発生する災害です。



急傾斜地崩壊の被害

突発的に起こり、速いスピードと強い破壊力をもつがけ崩れでは、人の命が奪われたり、家などの財産が押しつぶされるなど、悲惨な災害につながってしまう傾向があります。



土石流災害

大雨がきっかけとなり、谷や斜面にたまたま土砂が、雨による水と一緒に一気に流れ出して起こる災害です。



土石流の被害

流れの急な河川や、扇状地などで発生することが多いのが特徴です。速いスピードと強い力で、人命や家などの財産を奪い、道路や線路などの交通網に被害を及ぼします。



地すべり災害

比較的ゆるやかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい層が、地下水などの影響でゆっくりと動き出して起こる災害です。



地すべりの被害

広い範囲にわたって起こるのが特徴で、家や田畠、道路などの交通網などが一度に被害を受けてしまいます。一日に数ミリ程度と目に見えないほどの動き方ですが、突然数メートルも動くことがあります。また、地すべりによってせき止められた川の水が決壊すると、下流に大災害をもたらすこともあります。

◀平成23年紀伊半島大水害での土砂災害。(左)多発した表層崩壊や土石流により山肌が露出した那智川流域上流部。(中)那智勝浦町口色川地区を襲った土石流。(右)田辺市熊野地区で発生した深層崩壊。崩壊高さ約250m、幅約440m。

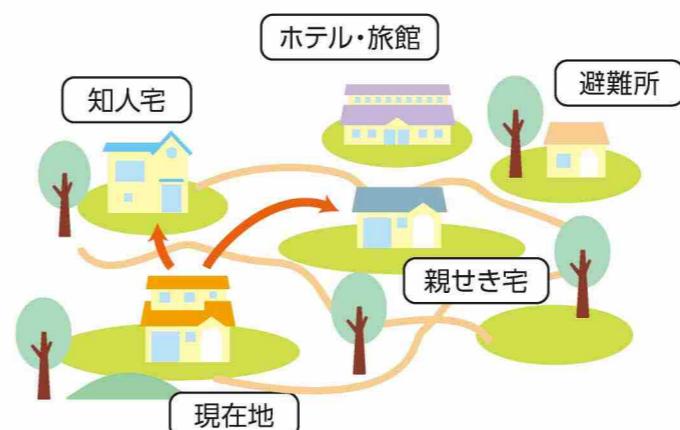
2. 土砂災害からの避難方法

2.1 避難

発生する災害種別に対して立退き避難が必要な場合には、町が指定した避難場所への避難や、安全な場所にある親戚・知人宅への避難が必要となります。あらかじめ相談しておきましょう。ただし、既に周辺で災害が発生している場合など、立退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合は、「近隣の安全な場所」^{*1}への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「緊急安全確保」^{*2}を行います。

*1「近隣の安全な場所」: 指定避難場所ではないが、近隣のより安全な場所・建物等

*2「緊急安全確保」: その時点に居る建物内において、より安全な部屋等への移動



横方向(水平)に避難

急傾斜地崩壊や土石流の起こる方向に対して横方向(水平)に避難が有効です。地図で逃げる方向を確認しておきましょう。



縦方向(垂直)に避難

屋外への避難が困難な場合は、2階以上の階へ移動し、斜面とは反対側の部屋に移動してください。

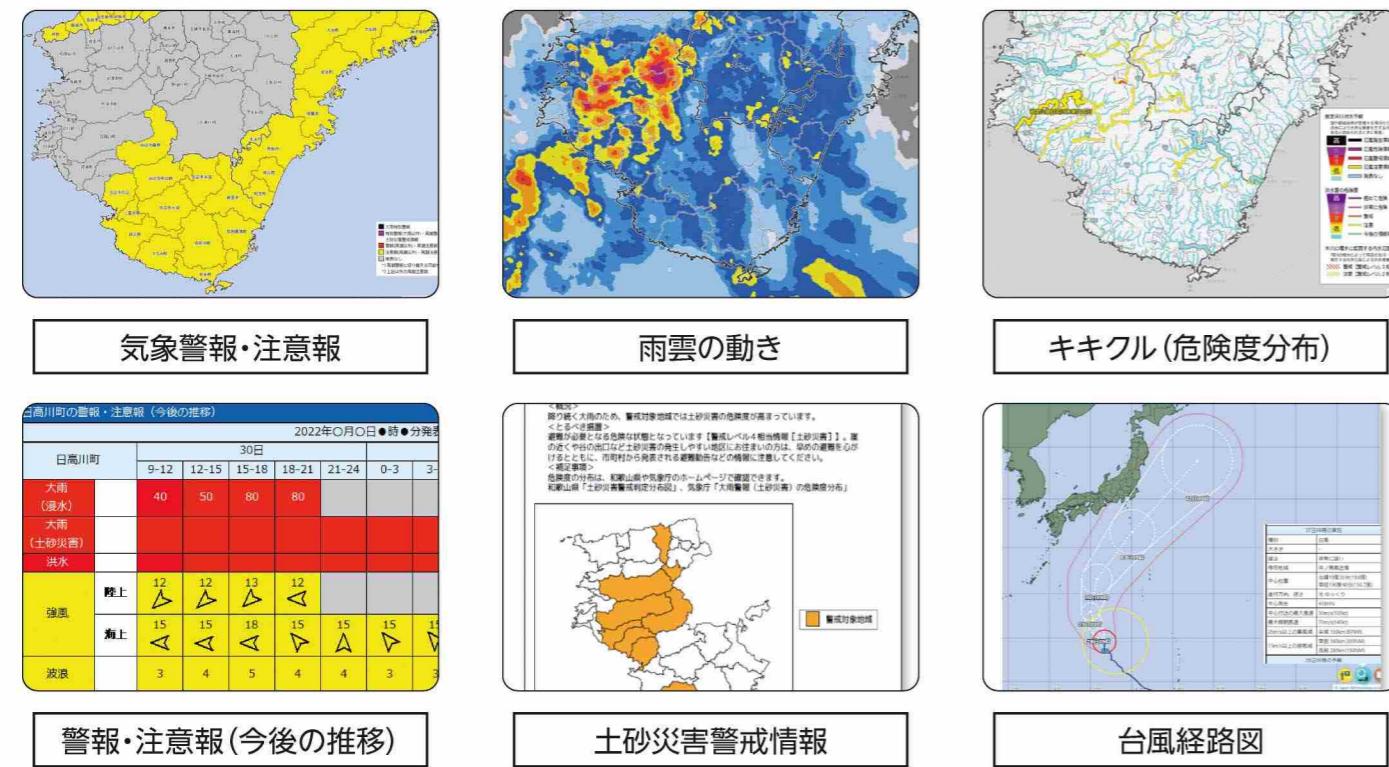
土砂災害の危険がある区域では
立退き避難が原則です



急傾斜地の崩壊や土石流に襲われる
と、大量の土砂が押しよせてきます。
土砂災害の危険がある場所から離れる
ことが重要です。

2.2 土砂災害からの逃げ時について

2.2.1 提供される様々な情報について



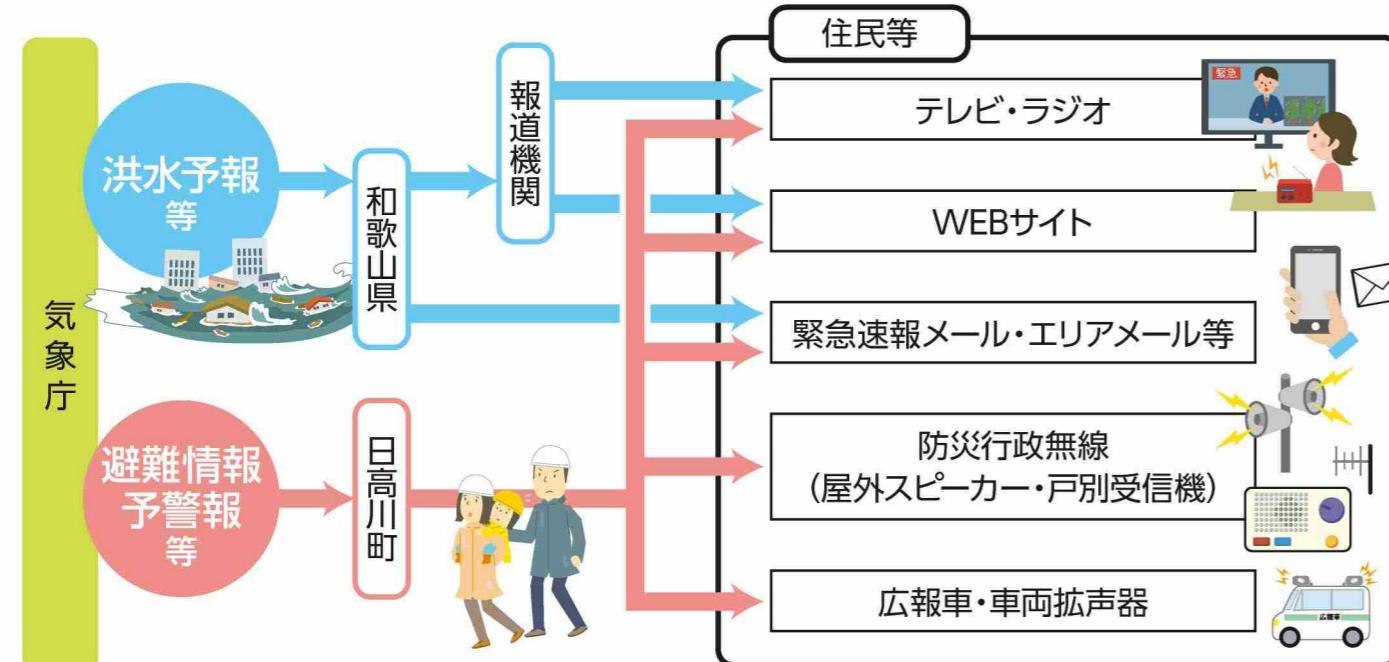
●気象庁／<https://www.jma.go.jp/bosai/>

上記URLから「全国の防災情報」にアクセスし、「表示をカスタマイズする」をクリックすると、様々な情報からあなたに必要な情報をひとつのページで閲覧できるように設定することができます。気象災害から身を守るために、防災気象情報をご活用ください。



二次元コードからスマートフォンでもアクセスできます。

2.2.2 情報の伝達経路と取得する手段



防災わくやまメール配信サービスで、日高川町の防災情報を受け取ることができます。詳しくは裏表紙をご覧ください。

2.2.3 周辺の異常を監視しましょう

前兆現象として様々な現象が、発生直前から数時間、時によっては数日前から認められることがあります。つぎのような前兆現象が確認された場合には、速やかに避難しましょう。

急傾斜地崩壊の前ぶれ



- ・斜面に割れ目がみえる
- ・斜面から小石がパラパラと落ちる
- ・斜面がはらみだす
- ・表面流が生じる
- ・斜面から水が噴き出す
- ・湧水が濁りだす
- ・樹木が傾く

- ・樹木の根が切れる音がする
- ・樹木の揺れる音がする
- ・地鳴りがする

土石流の前ぶれ



- ・溪流付近の斜面が崩れだす
- ・落石が生じる
- ・川の水が異常に濁る
- ・雨が降り続いているのに川の水位が下がる
- ・土砂の流出
- ・濁水に流木が混じりだす
- ・濁流内の火花

- ・地鳴りがする
- ・山鳴りがする
- ・転石のぶつかり合う音がする
- ・腐った土の臭いがする

地すべりの前ぶれ



- ・地面にひび割れができる
- ・地面の一部が落ち込んだり盛り上がったりする
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・斜面から水が噴き出す
- ・池や沼の水かさが急減する
- ・樹木が傾く
- ・家や電柱が傾く

- ・樹木の根が切れる音がする

2.3 避難に向けた備え

非常持出品

被災時・非常時にまず持ち出すもので、最初の一日をしのぐために必要なものの一例です。できるだけコンパクトにまとめて避難袋やリュックに入れ、玄関など場所を決めて準備しておきましょう。男性15kg、女性10kg、高齢の人や子供は6kgが持ち運びの目安となります。

貴重品類

- 現金(公衆電話用10円玉)
- 預金通帳・印鑑
- 健康保険証
- 運転免許証

避難用具

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の乾電池
- ヘルメット・防災ずきん

生活用品

- 厚手の手袋
- 毛布
- ライター・マッチ
- 携帯用トイレ

救急用品

- 処方箋の控え・お薬手帳
- 常備薬
- 生理用品

非常食品

- 飲料水
- 缶詰
- アメ・チョコレートなど

衣料品等

- 下着・靴下
- 長袖・長ズボン
- 防寒用具・雨具
-
-
-
-



その他
(家族構成や家庭の事情に合わせて準備しておくもの)

備蓄品

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出すことや、自宅で避難生活を送ることを想定して、必要な備蓄品を備えておきましょう。1週間分、最低でも3日分を備蓄しておきます。



食料品	<input type="checkbox"/> レトルト食品(ごはん・おかゆなど)・アルファ化米 <input type="checkbox"/> インスタントラーメン・カップみそ汁 <input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルが目安)
避難用具	<input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク(生活用水の確保用) <input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> キッチンラップ
生活用品	<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割り箸 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 水のいらないシャンプー <input type="checkbox"/> ビニール袋
その他必要なもの	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

「ローリングストック」とは?

日常購入している食品や飲料、日用品を普段より多めに購入し、期限が近いものから消費していき、全てなくなる前に補充していく方法です。特別な製品を購入する必要が無く簡単に始められる方法ですので、まずはここから実践してみましょう。



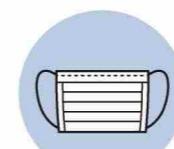
感染予防対策

災害時には、衛生状態の悪化に伴い感染症の拡大リスクが高まります。特に避難所など密集した集団生活の場では、衛生状態を保つことが大切です。自分自身が感染症にかかるないよう清潔にすることはもとより、他人にうつさないためにも咳エチケットなどを行い、飛沫感染や空気感染による拡大を防ぐことが大事です。また避難所の備品は限りがあるため、マスクや体温計など感染予防に必要なものは持参してください。

感染予防に必要なもの	その他必要なもの
<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> アルコール手指消毒剤	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/>



手指の消毒



マスクの着用



マスクの着用



検温と体調管理

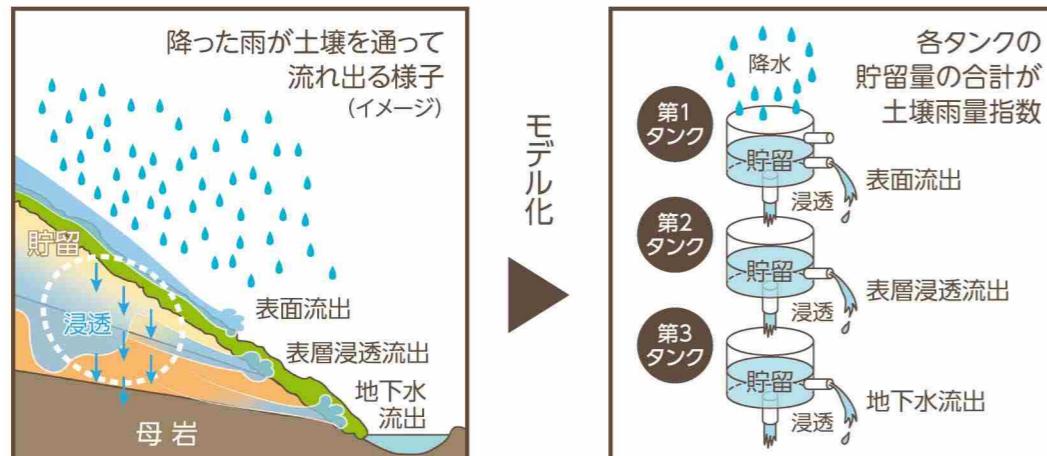


定期的な換気

3. Q&A

Q1 土砂災害はどういうときに発生しますか。

A1 土砂災害は、地中にたくさんの雨が溜まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。この特徴を表すのが土壤雨量指数(降った雨が土壤中に水分量としてどれだけ溜まっているかを数値化したもの)で、土砂災害発生の危険度を示しています。この危険度を反映した結果は大雨警報(土砂災害)の危険度分布で確認することができます。



出典:気象庁「大雨・洪水警報注意報基準の新しい指標」(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/shisu_kaisetsu.pdf)より作成

Q2 避難するタイミングはいつですか。

A2 土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)で「極めて危険」(濃い紫色)が出現すると、命に危険を及ぼす土砂災害がすでに発生していてもおかしくない状況です。土砂災害警戒区域等の居住者等は、可能な限り早めの避難行動を心がけ、遅くとも「非常に危険」(うす紫色)が出現した段階で速やかに避難行動を開始してください。

出典:気象庁「土砂災害に関する防災気象情報の活用」(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/ame_chuui/ame_chuui_p8-1.html)より作成

「警戒レベル4」が発令されていても、周辺に普段と違う異変を感じたら、危険な場所から速やかに避難してください。警戒レベルは、状況の急変などにより必ずしも1から5の順番に出されるとは限りません。

色が持つ意味	住民等の行動の例	相当する警戒レベル
極めて危険	『命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生していてもおかしくない極めて危険な状況。』この段階の前に避難を完了しておく。	
非常に危険	速やかに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。	4相当
警戒	土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。 高齢者等は速やかに避難する。	3相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

出典:気象庁「土砂災害警戒情報・土砂キキクル」(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/doshakeikai.html#a>)より作成

避難行動へ移す「防災スイッチ」



「防災スイッチ」とは?

「防災スイッチ」とは、大雨などで気象災害の発生が予想されるとき、気象情報や周囲の状況をもとに事前に決めておく日常生活を避難行動に移すスイッチ(きっかけ)のことです。

自分たちの身を自分たちで守るために、事前に「防災スイッチ」を地域で決めておきましょう。

例えば、
・○○川の水位が土手まで来たら
・山の湧水がいつもと違う時 等

京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 矢守 克也 教授

香川大学 創造工学部 竹之内 健介 講師

取組事例 <https://bosaiswitch.net/researches/kawamo/>



二次元コードからスマートフォンでもアクセスできます。

Q3 土砂災害は雨が止んだら大丈夫ですか。

A3 何日も前に降った雨による水分量が影響して、土砂災害が発生することがあります。大雨や長雨のあとは雨が止んでも、しばらくは土砂災害への注意が必要です。

地中に浸み込んだ雨は地下水となり、時間をかけて徐々に川や海へ流れ出すため、土壤中に含まれる水分量は急には減りません。このため、何日も前に降った雨による水分量が影響して、土砂災害が発生することがあります。

出典:気象庁「大雨・洪水警報注意報基準の新しい指標」(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/shisu_kaisetsu.pdf)より作成

Q4 けが人や病人が発生した場合、居合わせた人ができることはありますか。

A4

予想もしなかった時に、私たちは誰でも突然のけがや病気にかかる可能性があります。そのようなとき、居合わせた人たちによる正しく、速やかな応急手当が重要です。応急手当は症状を悪化させず、その後の治療にも良い影響を与えることができます。また、心肺停止の場合には、AED(自動体外式除細動器)を活用した迅速な処置も必要不可欠です。

応急手当ってどうするの?

切り傷などにより出血したとき

- 汚れている傷口は、きれいな水で十分に洗い流す。
- 清潔なガーゼや布で傷口をやや強く押さえ止血する。
- 骨折がなければ、傷口を心臓よりも高くする。
- 直接血液に触れないよう、ビニール袋やゴム手袋などを利用する。



骨折したとき

- 出血している場合はその手当てをする。
- 負傷した箇所はあまり動かさない。
- 氷あるいは冷湿布などを利用して腫れや痛みをやわらげる。
- 可能であれば、添え木*を当て、骨折部分の上下を固定する。
- さらに腕の場合は三角巾などで固定する。
※添え木は、棒や板、傘やダンボールなどを代用する。

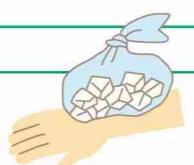


火傷したとき

- 流水で患部を冷やす。
- 水ぶくれは破らないように注意する。
- 消毒ガーゼかきれいな布を当て包帯を巻く。

ねんざしたとき

- 氷あるいは冷湿布などで、腫れや痛みをやわらげる。
- 靴は添え木の替わりになるので脱がずに、その上から三角巾や布で固定する。



●国民保護ポータルサイト

https://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryou/hogo_manual.html



心肺蘇生ってどうするの?



AEDの使用手順

- 心肺蘇生を行っている途中でAEDが届いたら、すぐにAEDを使う準備を始める。
- AEDの電源を入れる(ふたを開けると自動で電源が入るものもある)と流れる音声メッセージと、点滅するランプに従って操作する。



●日本医師会

<https://www.med.or.jp/99/index.html>

Q5 避難先で注意することはなんですか。

A5

避難所では、限られた空間の中で、たくさんの人たちが生活することになるので、支援が満足に受けられないこともあります。事前に自分でできることは準備し、助け合いながら避難生活を送りましょう。

避難の必要な被災者が躊躇なく避難できる環境の確保

専用スペースの確保

入口で検温と問診を受け、罹患の可能性のある人は個室を基本に、動線と居住スペースは完全に分けましょう。



ソーシャルディスタンス



一般居住スペースでは、被災者一人当たりの所要面積を4m²以上とします。

衛生環境の確保

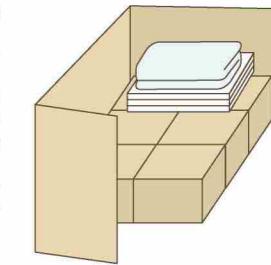
避難所の物品や身の回りの物は、目に見える汚れがあるときだけではなく、定期的に家庭用洗剤などを用いて清掃しましょう。



閉鎖空間での新型コロナウイルスの感染防御の基本

感染者との接触回数の制限

支援者が単に出入りするだけなら、マスクと手袋の着用だけでも効果があります。感染者に触れる介護や清掃を実施する場合は、ガウンやフェイスガードなどの個人防護具の着用が必要です。感染防護具の着脱訓練を受けることが望ましいでしょう。



簡易ベッドの導入

ウイルスは床面への沈着や床面からの再飛散が指摘されており、雑魚寝は感染拡大を助長します。簡易ベッドは感染予防の観点からも重要なです。

福井大学医学部 山村修 教授 地域医療推進講座より

「三密」を避けましょう

密閉



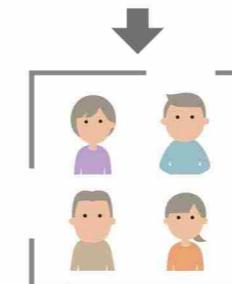
密集



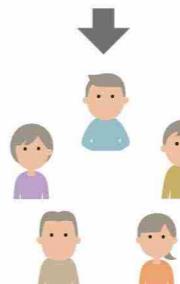
密接



換気の悪い密閉空間



多数が集まる密集場所



間近で会話する密接場面



クラスターの発生を防止することが、新型コロナウイルスの対策として重要です。こまめな換気を行い、周りの人と十分な距離を保ち、避難所ではより「密」にならないように気をつけましょう。

4. 避難所一覧(土砂災害)

見たい施設の索引の番号から
該当するページをご覧ください。

索引	
1-2F	中津川農業会館

地図番号(P15以降の地図上部にある青い囲みの数字)
各ページの枠外にある縦(数字)・横(アルファベット)の英数字
(交差したマス目に対象施設があります)

索引	名称	種別	安全レベル (風水害)
1-2F	中津川農業会館	■	☆☆☆
1-2C	千津川コミュニティセンター	■	☆(注)
1-3C	千津川福祉会館	■	☆(注)
2-1A	鐘巻会館	■	☆☆☆
2-2B	大成中学校体育館	■	☆☆☆
2-2B	大成中学校グラウンド	■	☆☆☆
2-2C	土生会館	■	☆☆☆
2-2C	日高川町保健センター	■	☆☆☆
2-3C	川辺西小学校体育館	■	☆(注)
2-3C	川辺西小学校グラウンド	■	☆☆☆
2-3D	小熊児童館	■	☆☆☆
2-3E,3-3A	かわべ保育所	■	☆☆☆
2-2D	矢田コミュニティセンター	■	☆☆☆
2-3E	日高川町防災センター 拠点	■	☆☆☆
3-3D	入野集落センター	■	☆(注)
4-2A	若野コミュニティセンター	■	☆☆☆
8-4A	玄子集会所	■	☆☆
3-1C	下玄子集会所	■	☆(注)
8-1D	早蘇中学校体育館 拠点	■	☆(注)
8-1D	早蘇中学校グラウンド	■	☆☆
8-4B	早藤集会所	■	☆(注)
8-4B	川辺老人憩の家	■	☆(注)
8-2C	蛇尾集会所	■	☆(注)
9-4A	下平川集会所	■	☆(注)
9-3A	光導寺	■	☆(注)
9-2C	平川生活改善センター	■	☆(注)
9-2E,11-4A	吉子集会所	■	☆(注)
9-2C	三百瀬小学校体育館	■	☆(注)
9-2C	三百瀬小学校グラウンド	■	☆(注)
9-3B	三百瀬公民館	■	☆☆
10-3C	伊藤川集会所	■	☆(注)
10-1E	藤野川会館	■	☆(注)
5-3E	山野小学校体育館	■	☆(注)
5-3E	山野小学校グラウンド	■	☆(注)
5-3E	山野会館	■	☆☆☆
6-3E	市川集会所	■	☆(注)
7-3E	大滝川集会施設	■	☆(注)
5-1F,7-2B	三津川公民館	■	☆(注)
4-4F,5-3A	江川小学校体育館	■	☆(注)
4-4F,5-3A	江川小学校グラウンド	■	☆(注)
4-3E	丹生中学校体育館	■	☆☆☆
4-3E	丹生中学校グラウンド	■	☆☆
4-4C	下江川集会所	■	☆☆
5-3C	高畠集会所	■	☆(注)
4-4F,5-3A	江川コミュニティ防災センター	■	☆(注)
4-2D	かわべテニス公園	■	☆☆☆

索引	名称	種別	安全レベル (風水害)
4-2D	かわべテニス公園屋内テニスコート	■	☆☆☆
4-2C	和佐小学校体育館	■	☆(注)
4-2C	和佐小学校グラウンド	■	☆(注)
4-4A	南山若者センター 拠点	■	☆
4-4B	南山陸上競技場	■	☆☆
4-5B	南山野球場	■	☆☆
4-1C	和佐公民館	■	☆(注)
3-1D,8-5C	松瀬コミュニティセンター	■	☆(注)
2-3C	日高川町農村環境改善センター	■	☆
4-3C	介護老人保健施設和佐の里	■	☆(注)
2-2B	介護老人保健施設和佐の里 サテライト千寿	■	☆☆☆
4-2D	特別養護老人ホームときわ寮川辺園	■	☆☆☆
9-2F,11-4B	女性若者等交流活動支援施設	■	☆(注)
11-1C	中津小学校体育館 拠点	■	☆(注)
11-1D	中津小学校グラウンド	■	☆(注)
11-2B	岡本集会所	■	☆(注)
11-2B	小津茂集会所	■	☆(注)
11-1C	観音寺	■	☆(注)
11-1C	高齢者等活動生活支援促進施設	■	☆(注)
11-1C	特別養護老人ホーム白寿苑	■	☆
11-1D,12-4A	上滝本集会所	■	☆(注)
12-3B	西原集会所	■	☆(注)
12-3B	旧老人憩いの家「歳の神荘」	■	☆(注)
12-3C	日高高校中津分校体育館	■	☆(注)
12-3C	日高川町役場中津支所	■	☆
12-3C	旧高津尾小学校体育館	■	☆(注)
12-3C	旧高津尾小学校グラウンド	■	☆(注)
12-3C	旧船着中学校体育館	■	☆(注)
12-3C	淘汰寺	■	☆(注)
12-3D	日高川町地域交流センター 拠点	■	☆
11-1F,12-4B	なかつ保育所	■	☆(注)
12-3C	本郷集会所	■	☆(注)
11-1F,12-4C	新田集会所	■	☆(注)
12-3D	尾曾集会所	■	☆(注)
12-4D	中津荘	■	☆(注)
15-2E	鳴滝温泉館	■	☆
15-2D	中木集会所	■	☆(注)
12-1D,13-4E	広瀬集会所	■	☆☆
13-1C,14-5C	伊佐の川集会所	■	☆(注)
19-1C,20-4C	姉子集会所	■	☆(注)
19-1C,20-5C	旧子十浦小学校体育館	■	☆(注)
19-2C,20-5C	旧子十浦小学校グラウンド	■	☆(注)
19-2C	渓谷寺	■	☆(注)
19-2B	西鶴記念交流館	■	☆(注)
19-1E,20-4E	原日浦生活改善センター	■	☆(注)
22-4B	平岩集会所	■	☆(注)

索引	名称	種別	安全レベル (風水害)
20-2B	三十井川集会所	■	☆(注)
15-3C	佐井集会所	■	☆(注)
15-3C	極楽寺	■	☆(注)
15-4C,16-1C	佐井ゴルフ記念館	■	☆(注)
16-2D	旧大星小学校体育館	■	☆(注)
16-2D	旧大星小学校グラウンド	■	☆(注)
16-2D	坂野川集会所	■	☆(注)
16-3D	旧老人憩いの家「望月荘」	■	☆(注)
16-2D	山向寺	■	☆(注)
17-4B	畠ヶ瀬集会所	■	☆(注)
16-4B	大又集会所	■	☆(注)
16-3D	大星ゲートボール場	■	☆(注)
16-3D	老星集会所	■	☆(注)
17-4C	安楽寺	■	☆(注)
17-4C	三佐集会所	■	☆(注)
17-4C	旧たちはな保育所	■	☆(注)
17-3C	中津中学校体育館	■	☆(注)
17-3C	中津中学校グラウンド	■	☆(注)
17-2C	旧役場川中支所 拠点	■	☆(注)
17-2C	田尻集会所	■	☆(注)
17-2C	旧川中第一小学校体育館	■	☆(注)
17-2C	旧川中第一小学校グラウンド	■	☆(注)
17-1D	小釜本集会所	■	☆(注)
17-1C	八幡神社	■	☆☆☆
17-1C	長子集会所	■	☆☆
18-1B	下田原集会所	■	☆(注)
18-1B	堂前会場	■	☆☆
19-4C	上田原集会所	■	☆(注)
22-3E,23-4A	日高川町保健福祉センター	■	☆
22-3D	美山中学校体育館	■	☆(注)
22-3D	美山中学校グラウンド	■	☆(注)
22-3E,23-4A	川原河小学校体育館 拠点	■	☆☆☆
22-3E,23-4A	川原河小学校グラウンド	■	☆☆
24-3B	上越方集会所	■	☆(注)
24-3D	浅間集会所	■	☆(注)
25-3B	熊野川生活改善センター	■	☆(注)

避難所の種別について

避難所を兼ねる避難場所

避難所(災害により自宅に帰ることができなくなったり住民等が一定期間滞在する施設等)と避難場所の機能を備えた施設等です。

避難場所

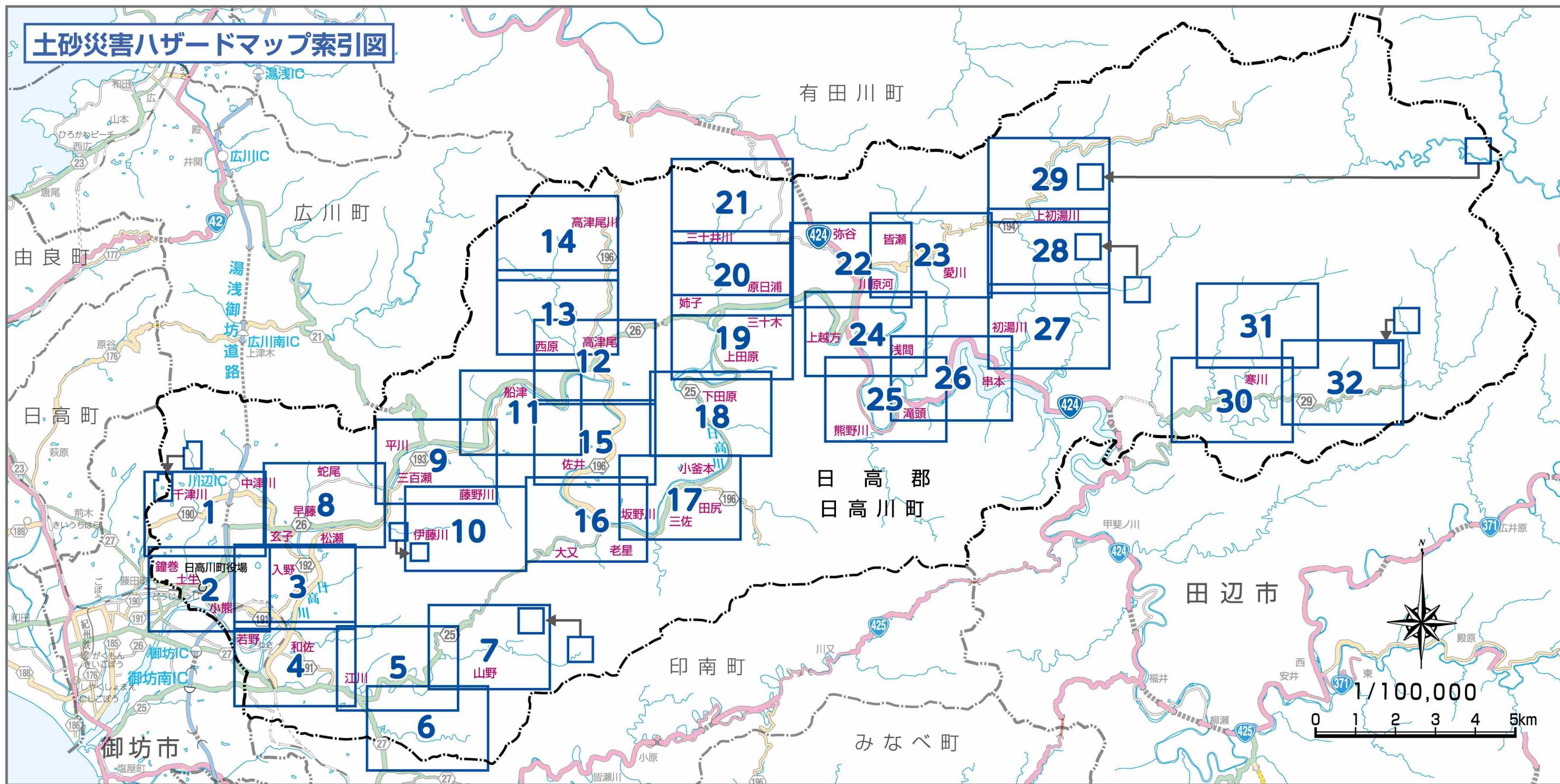
災害時、命を守るために緊急的に避難する場所です。

福祉避難所

配慮を要する方が相談・支援を受けることができる体制が整い、良好な生活環境の確保が図られている避難所のことです。

安全レベルの考え方(和歌山県基準)

安全レベル ☆☆☆	安全レベル ☆☆	安全レベル ☆	安全レベル ☆(注)
土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難場所	土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難場所	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がある避難場所	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がより高い避難場所



土砂災害（急傾斜地の崩壊、土石流、地すべり）にはそれぞれ
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）が設定されています

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とは？

土砂災害により生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）とは？

土砂災害により建築物に損壊、生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊



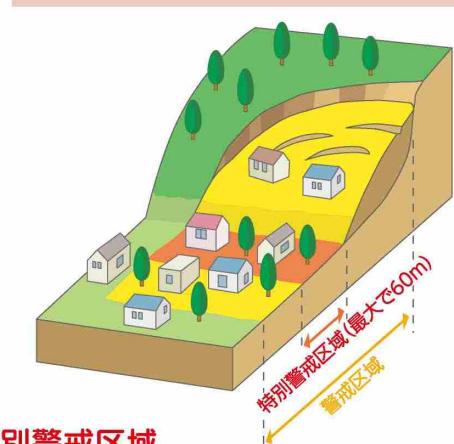
土砂災害警戒区域
(イエローゾーン)

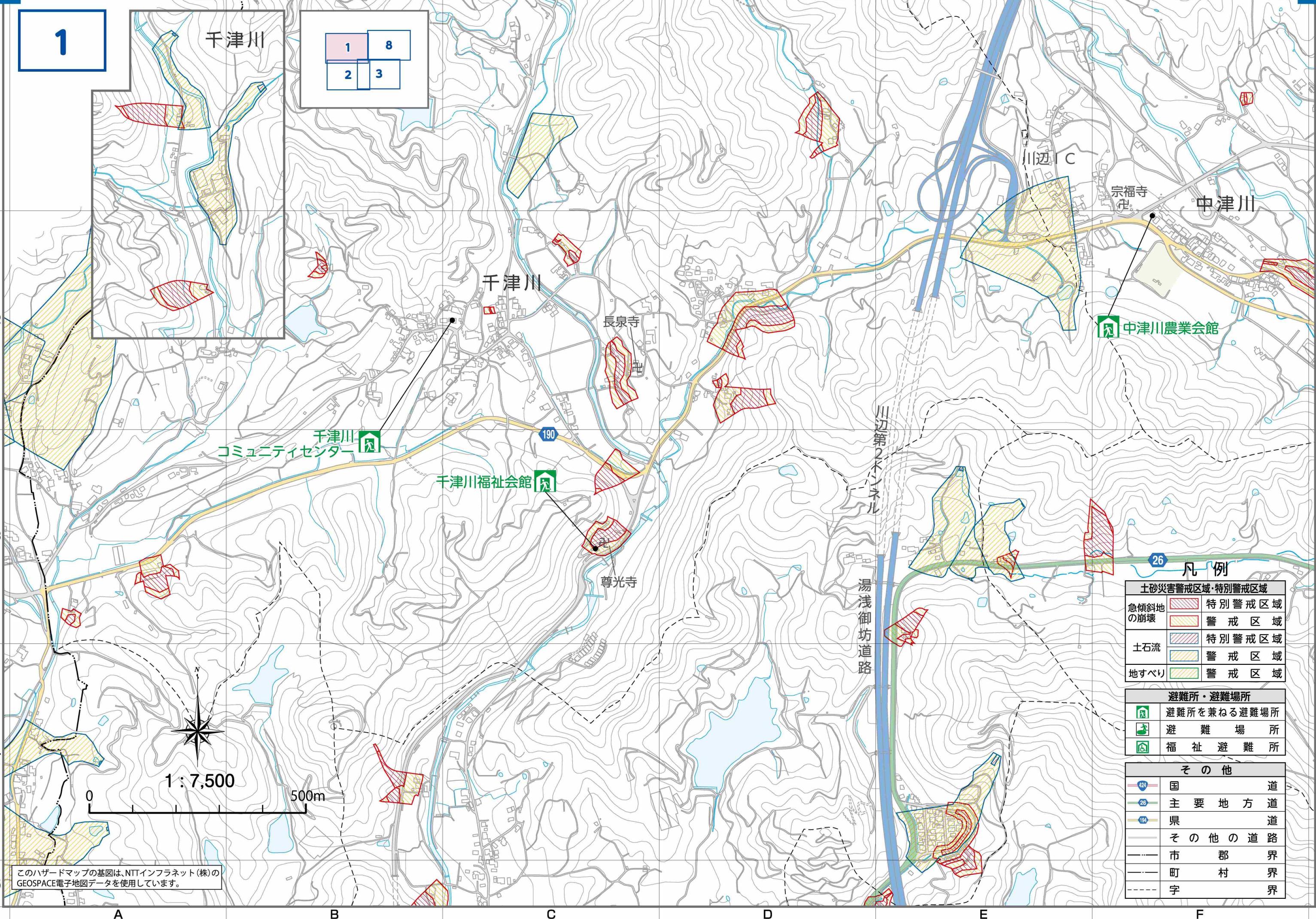
土石流

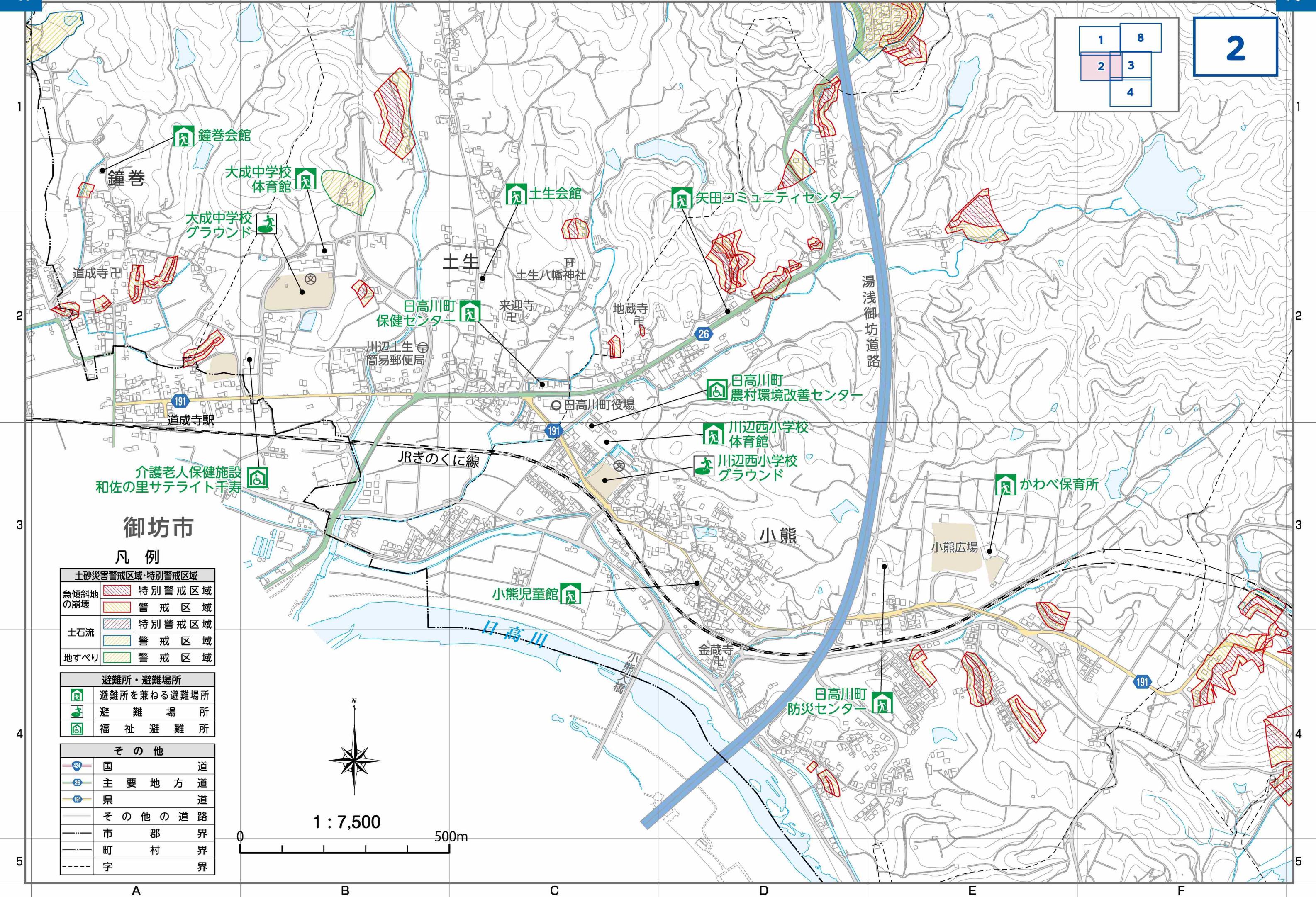


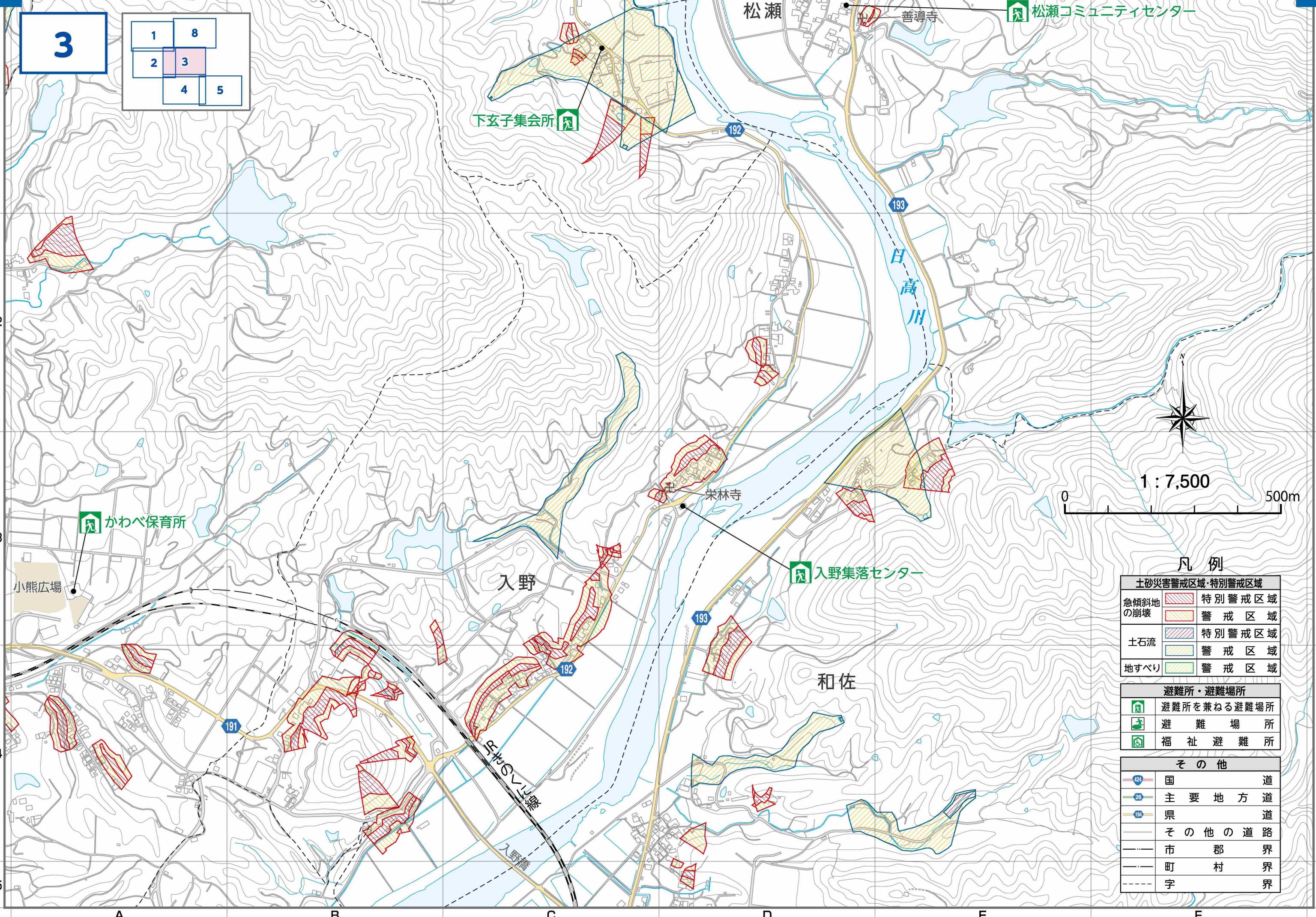
土砂災害特別警戒区域
(レッドゾーン)

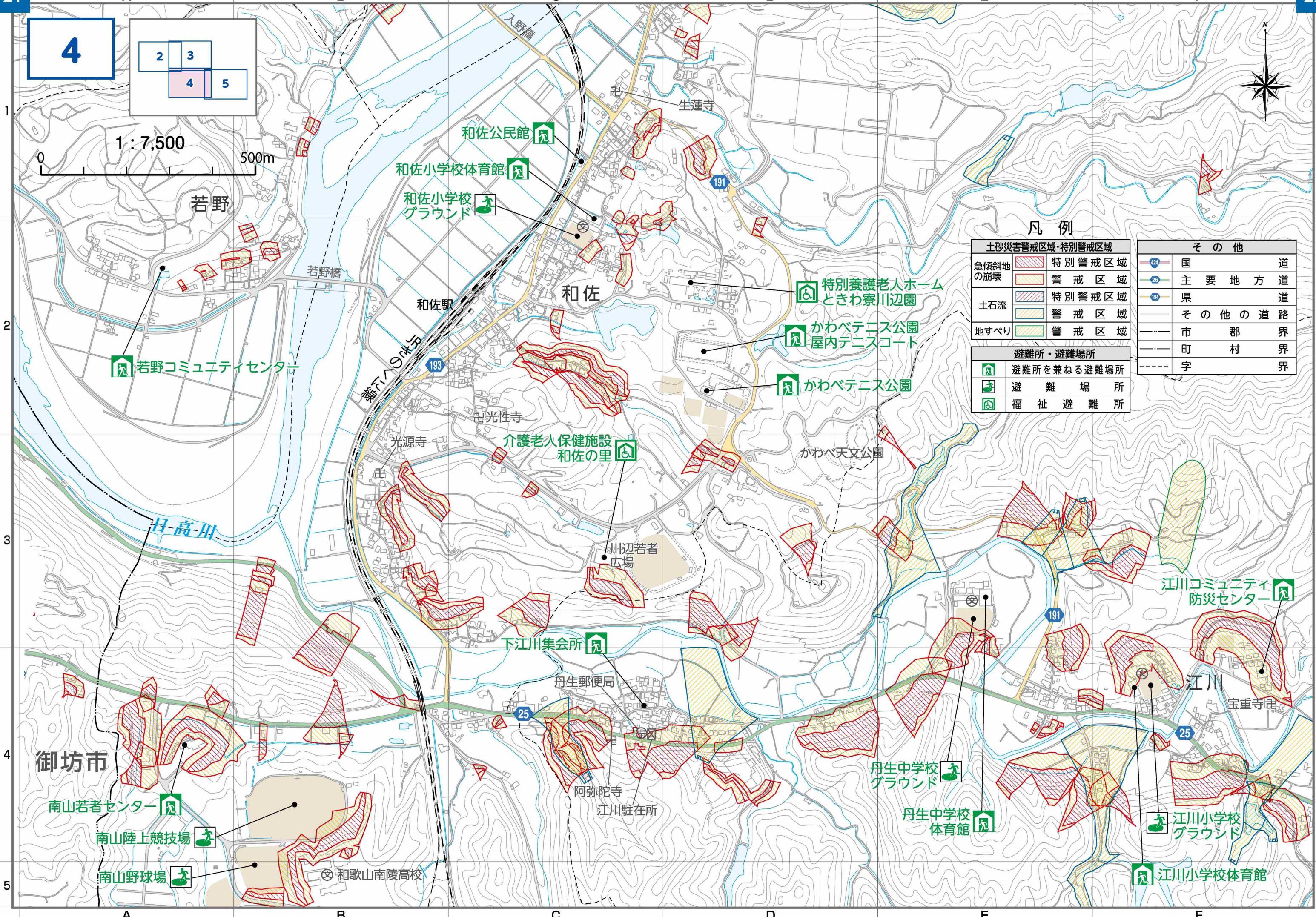
地すべり

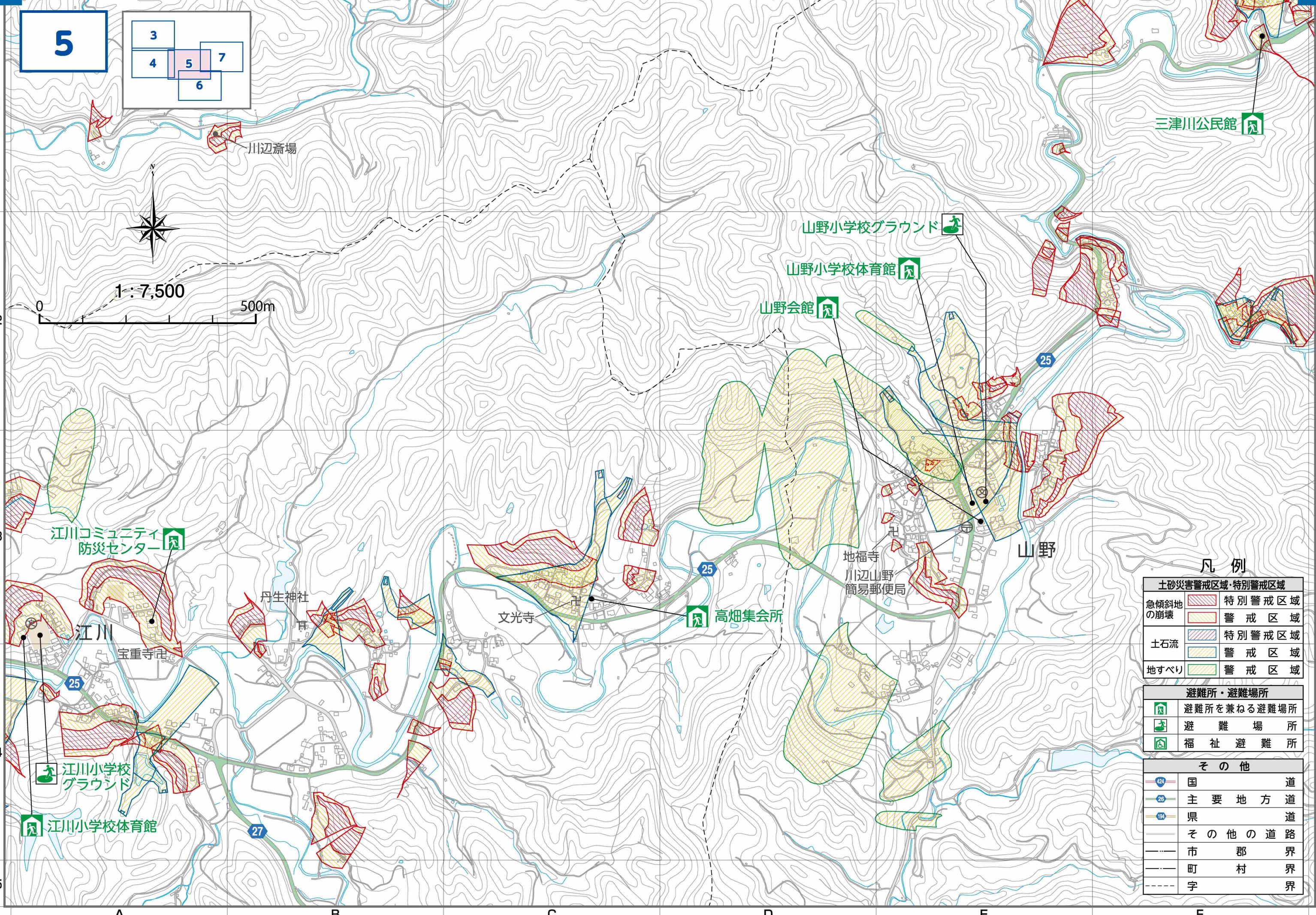


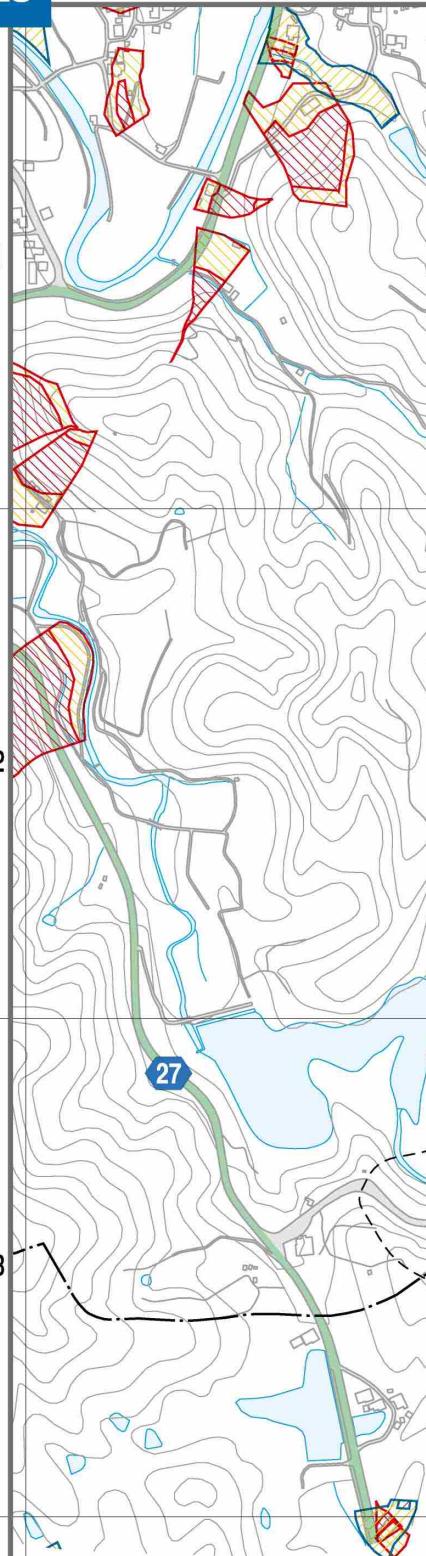












印南町

凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
急傾斜地 の崩壊	特別警戒区域
	警 戒 区 域
土石流	特別警戒区域
	警 戒 区 域
地すべり	警 戒 区 域

避難所・避難場所	
避 難 所 を 兼 むる 避 難 所	
避 難 地 場 所	
福 祉 避 難 所	

A

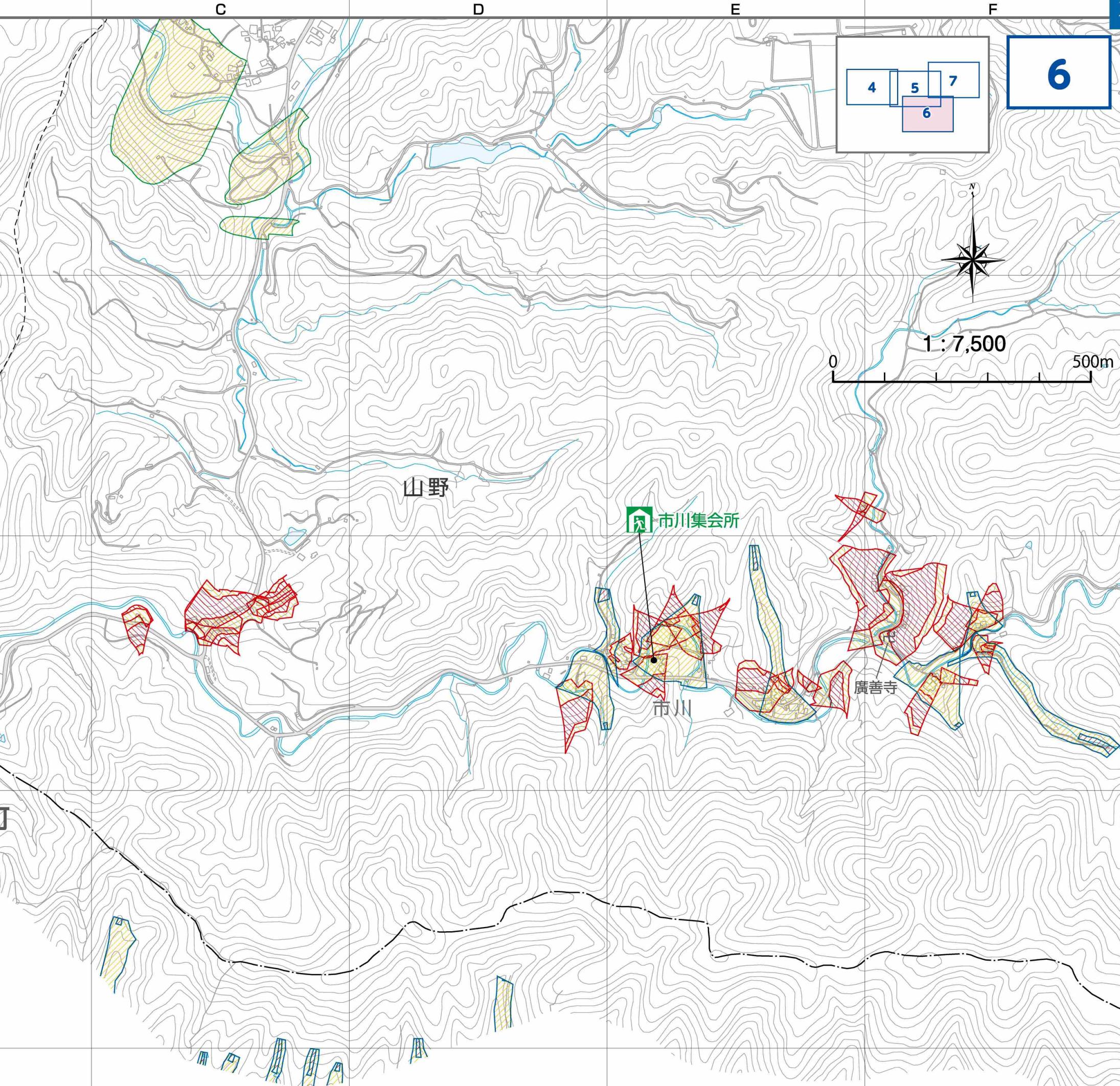
B

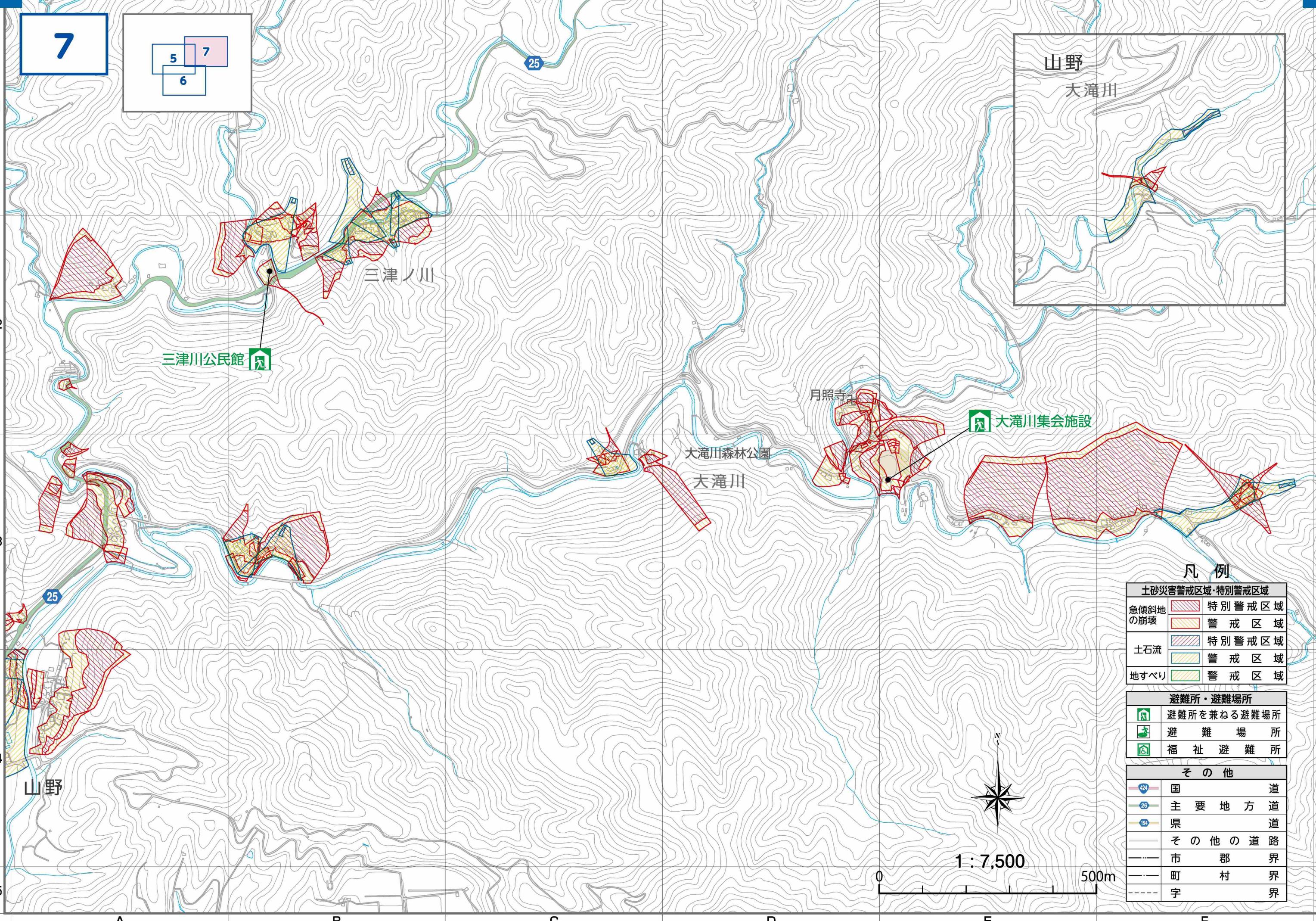
C

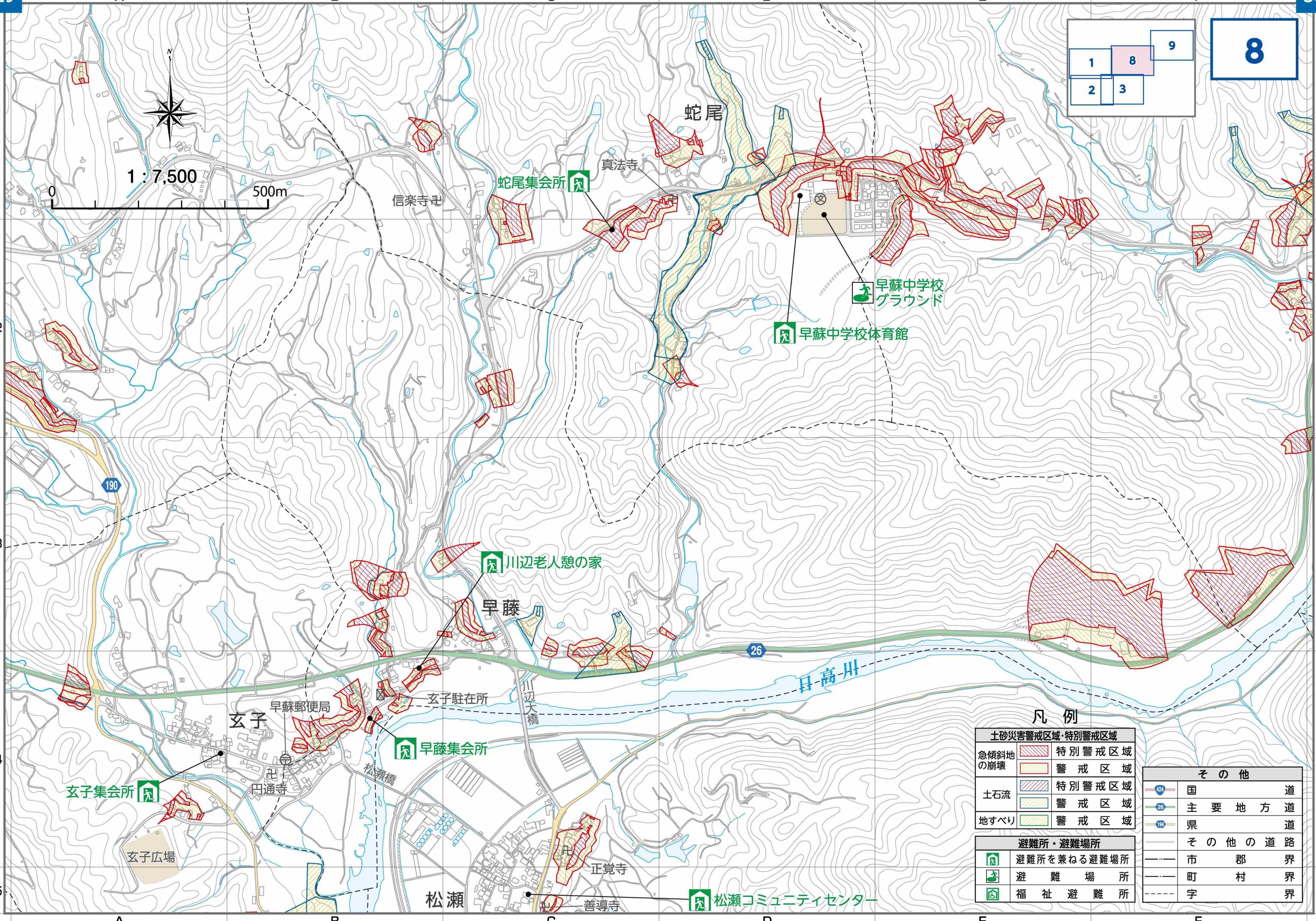
D

E

F







A

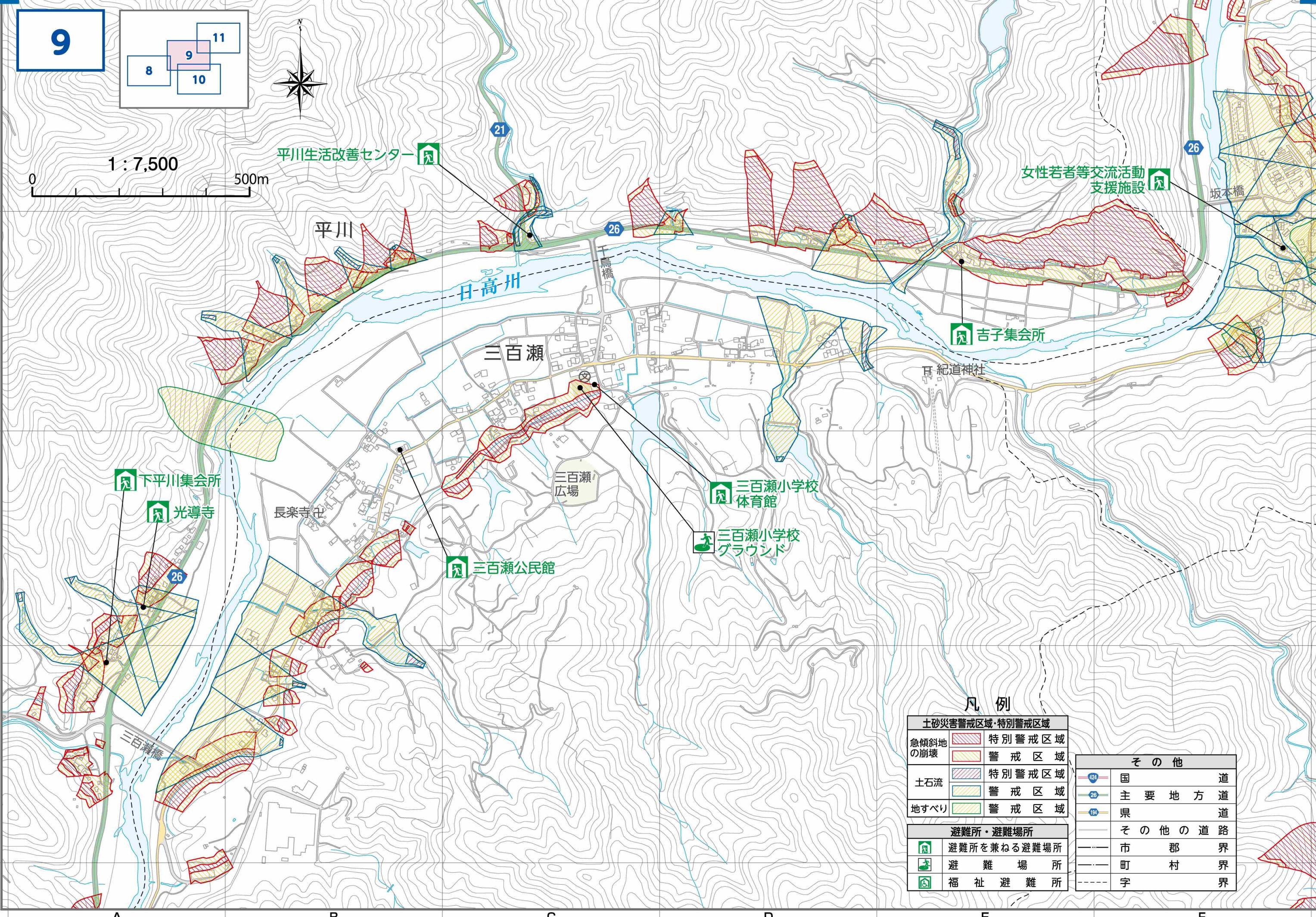
B

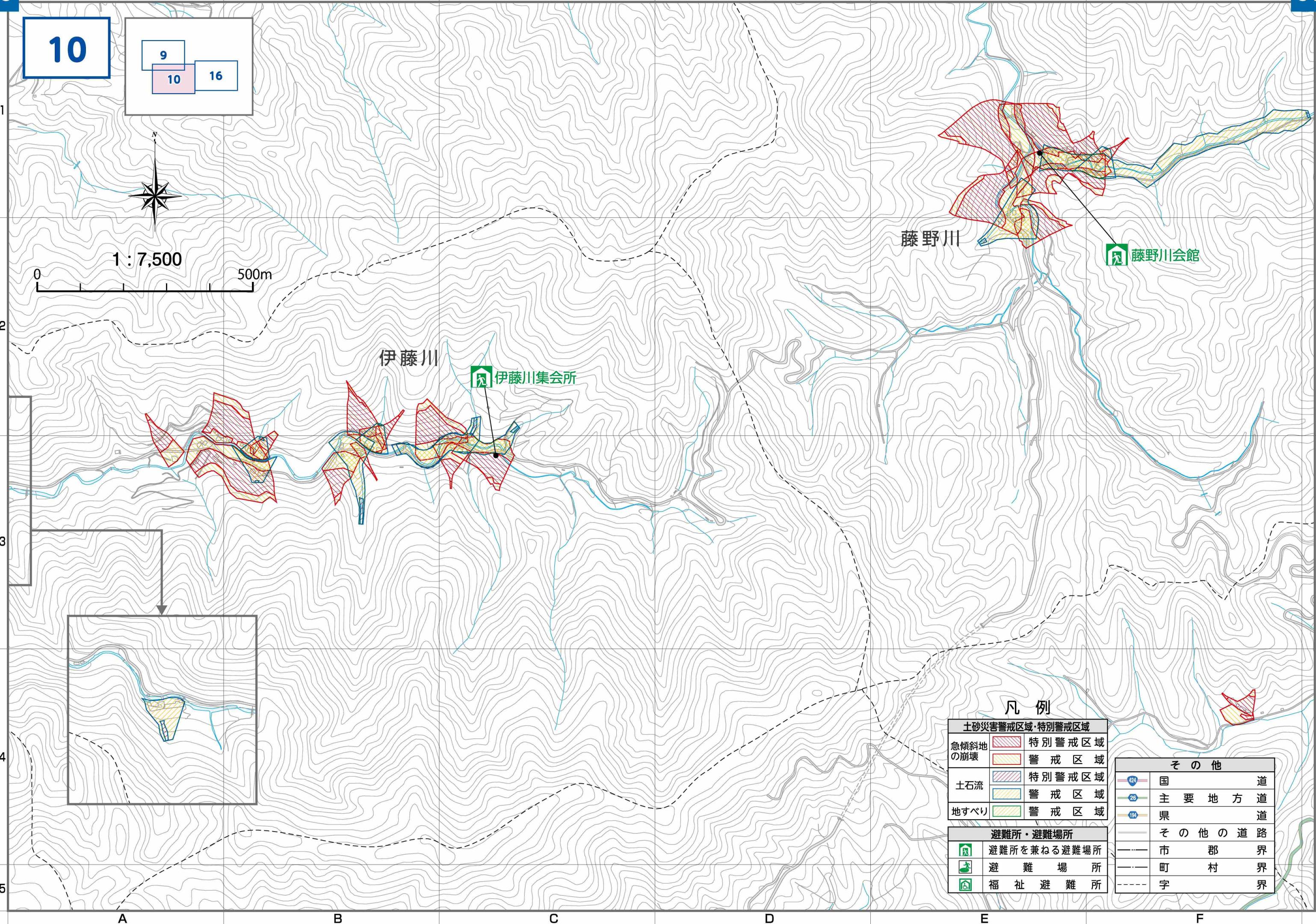
C

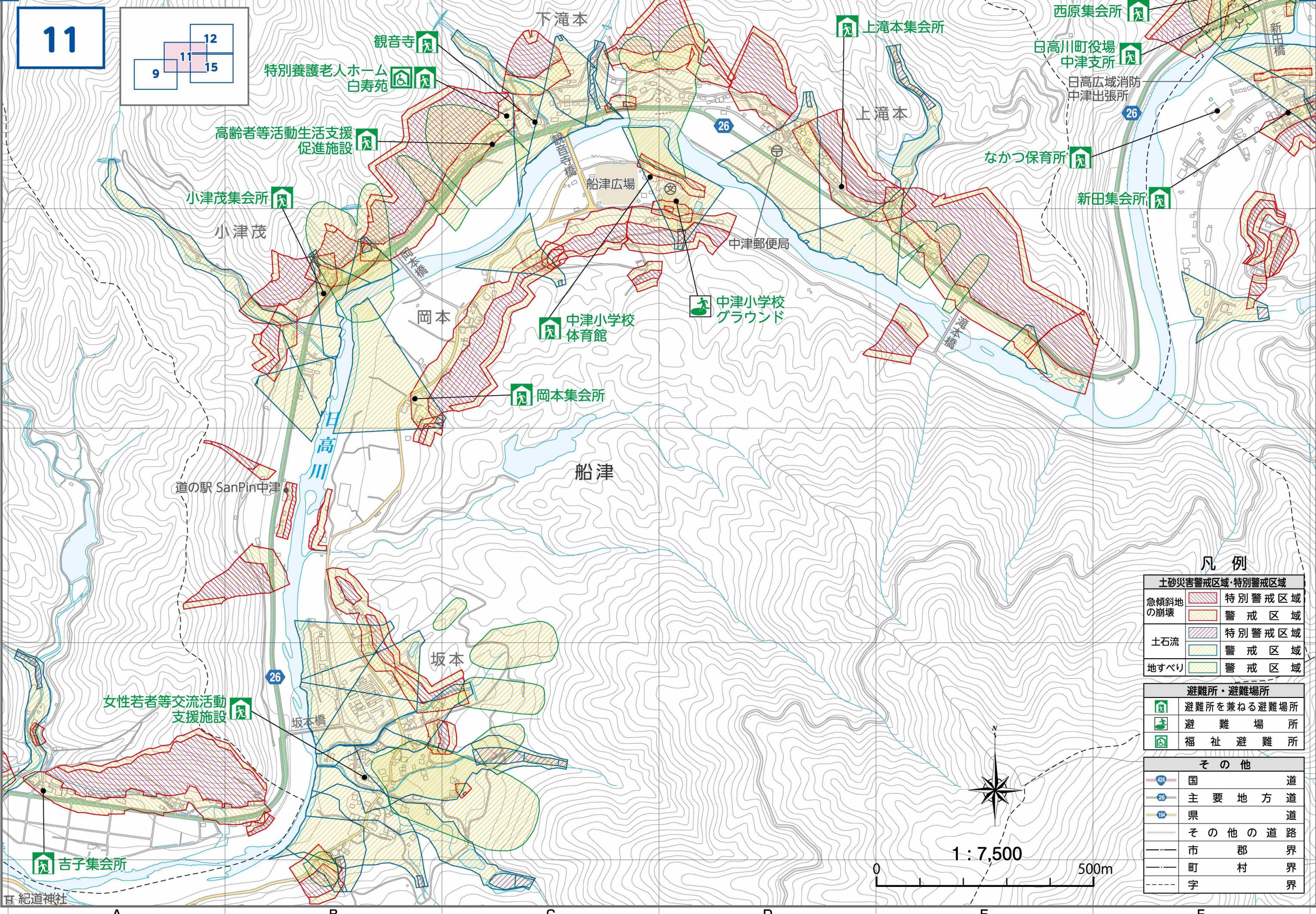
D

E

F







A

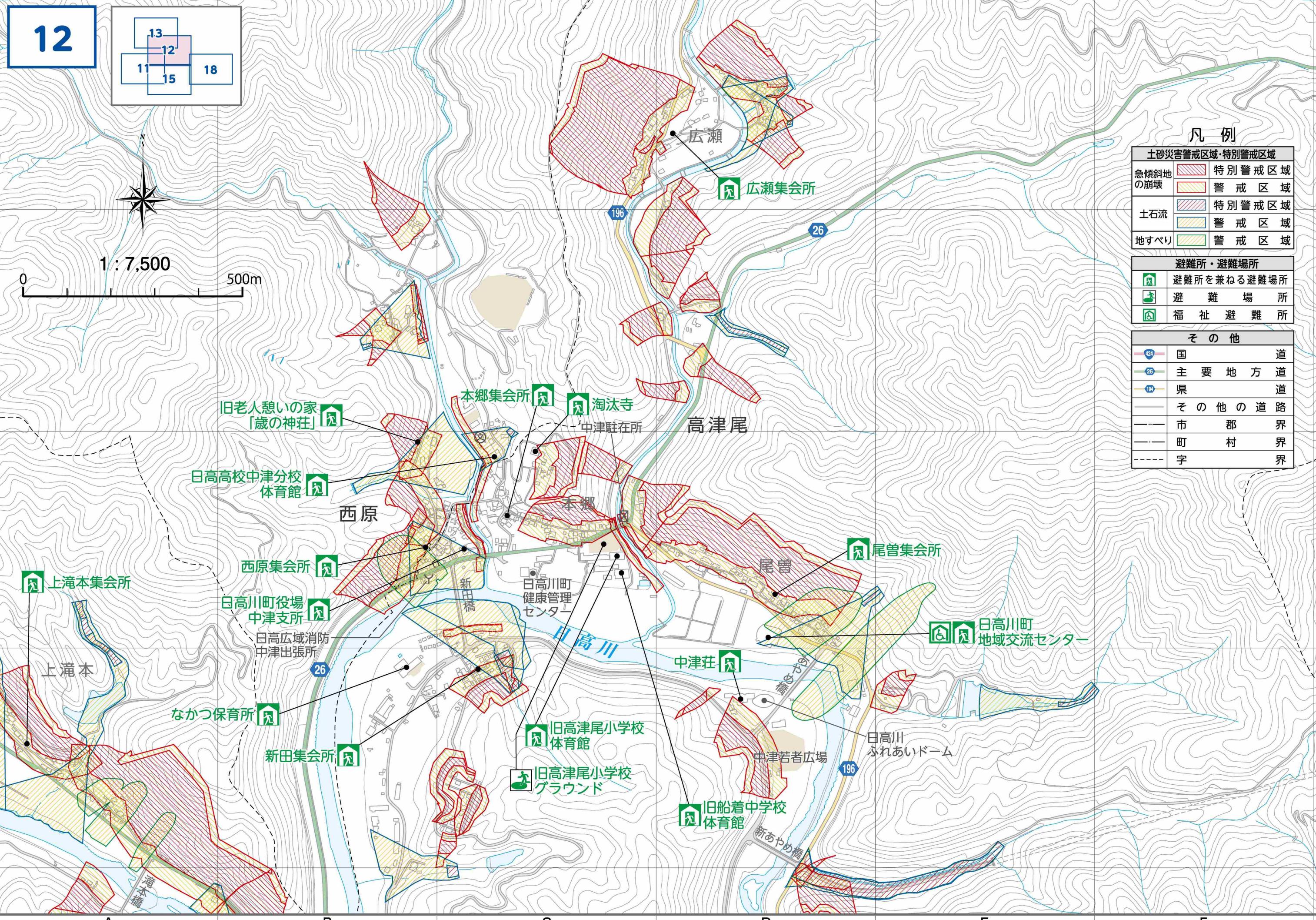
B

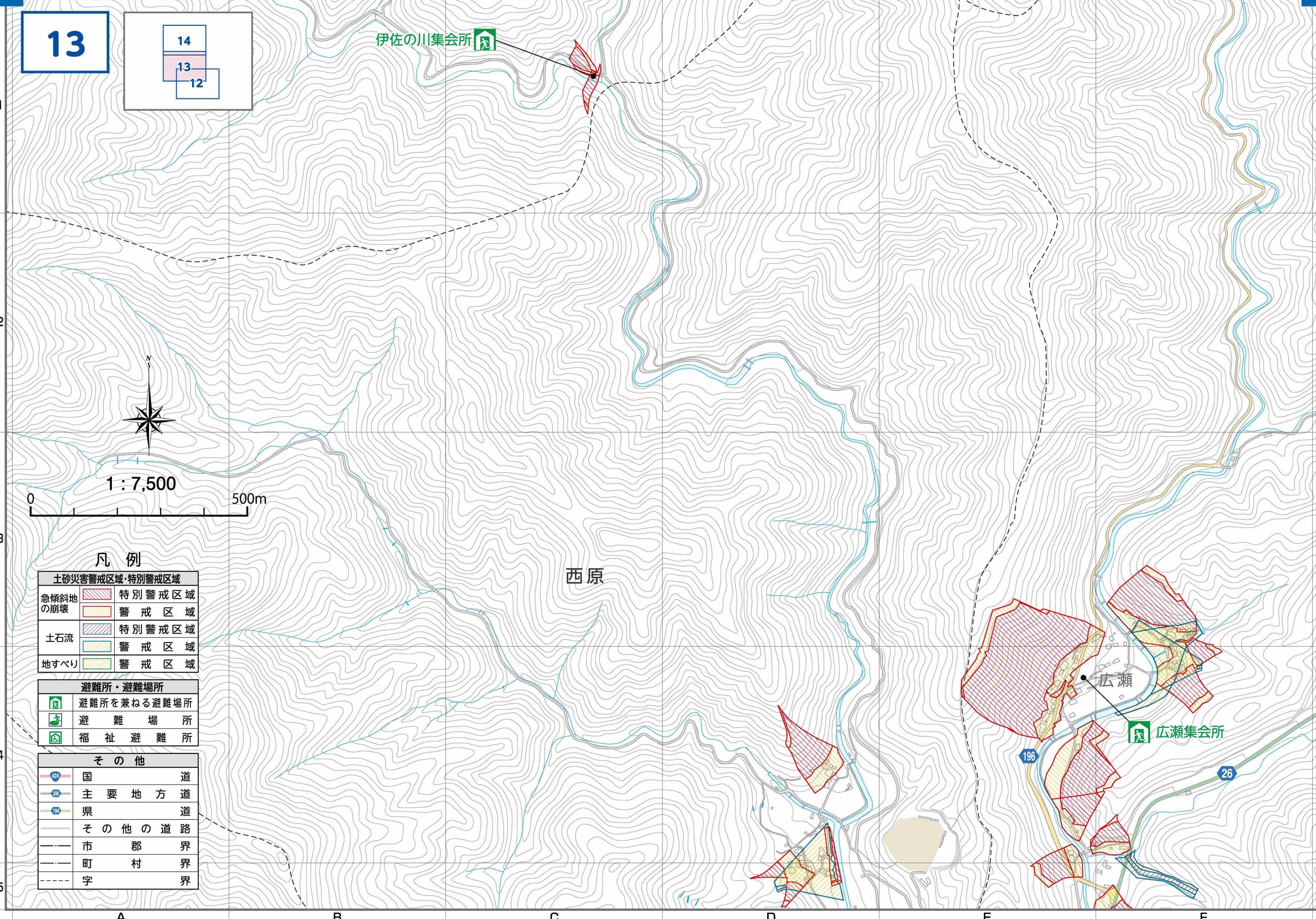
C

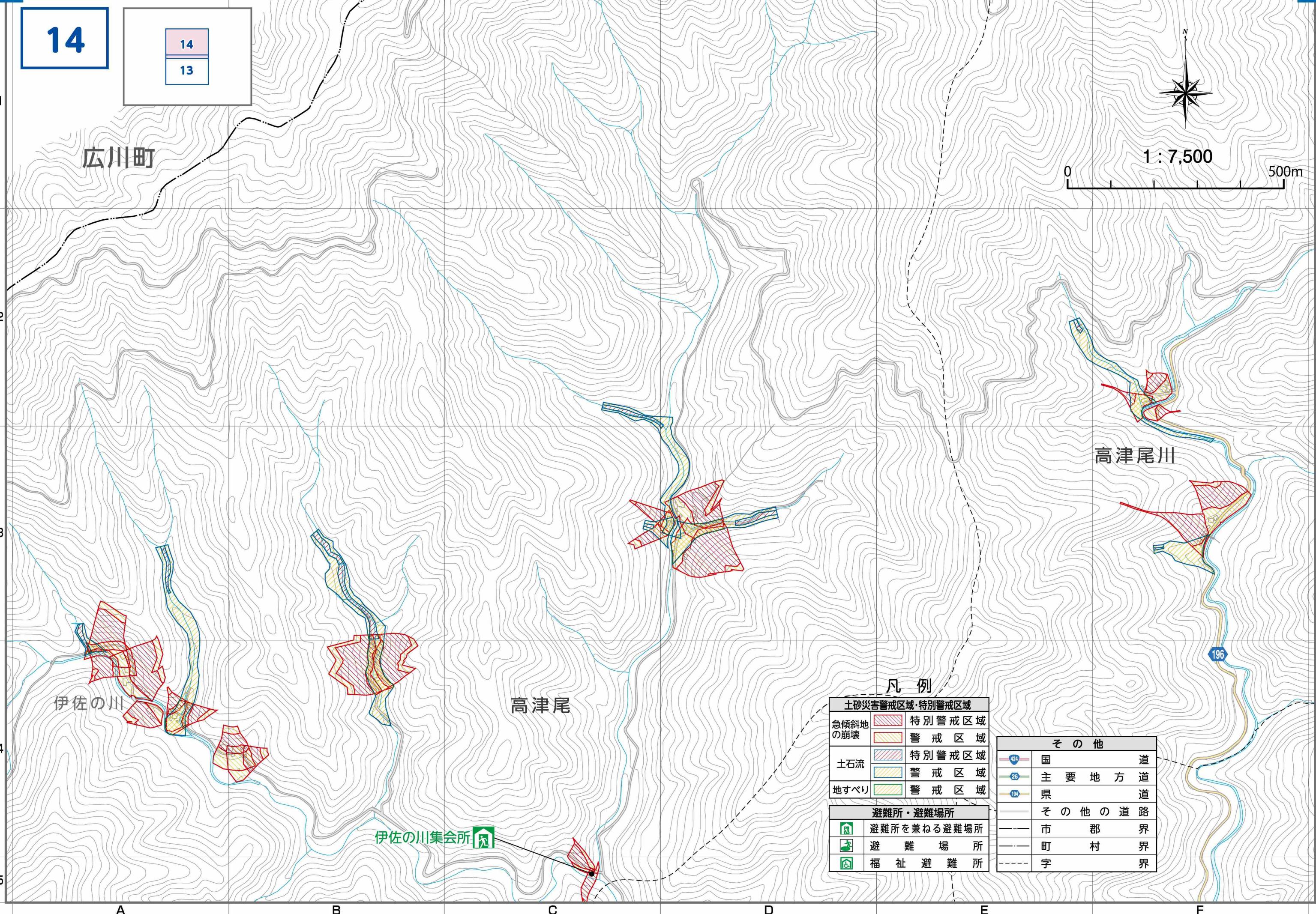
D

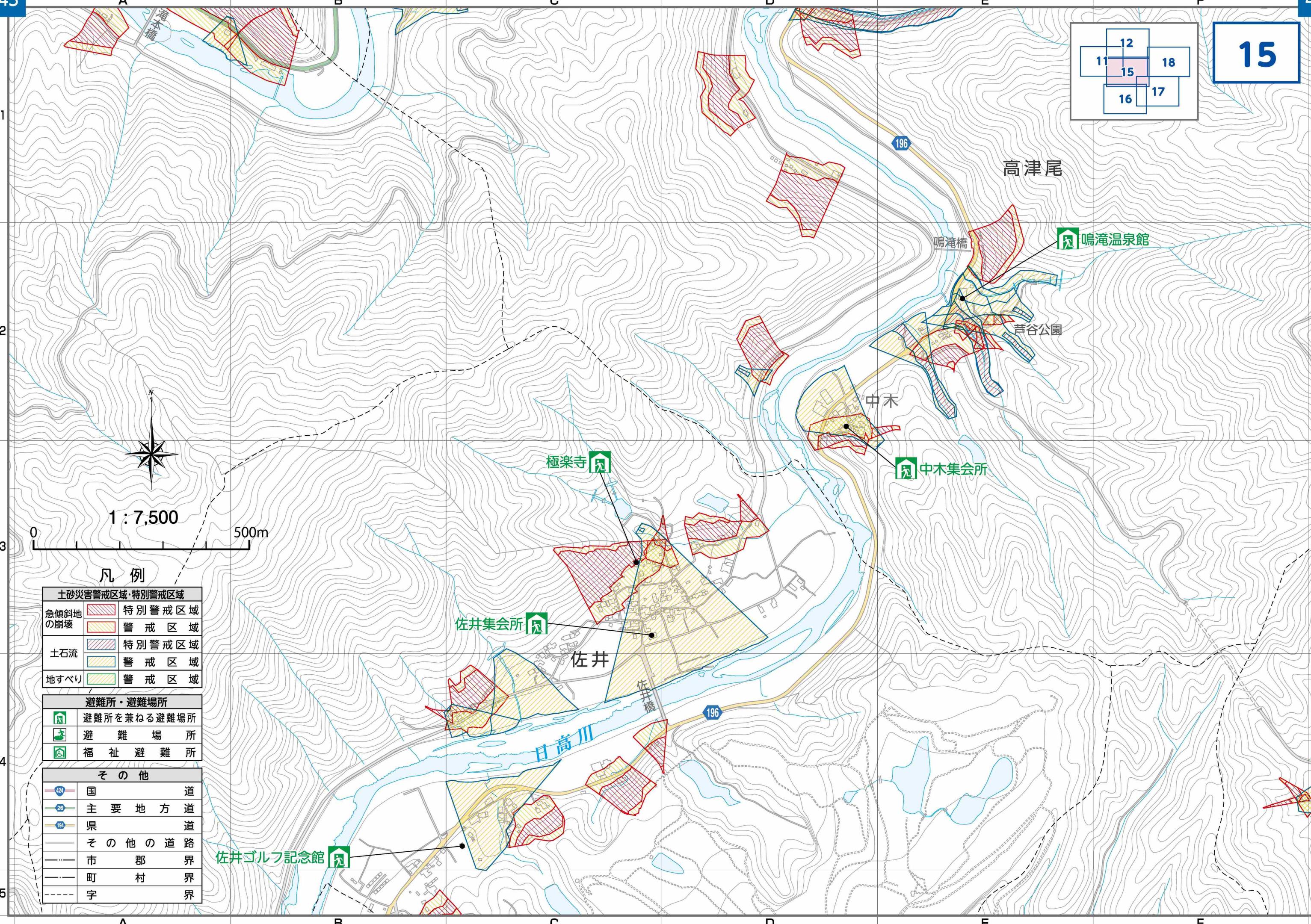
E

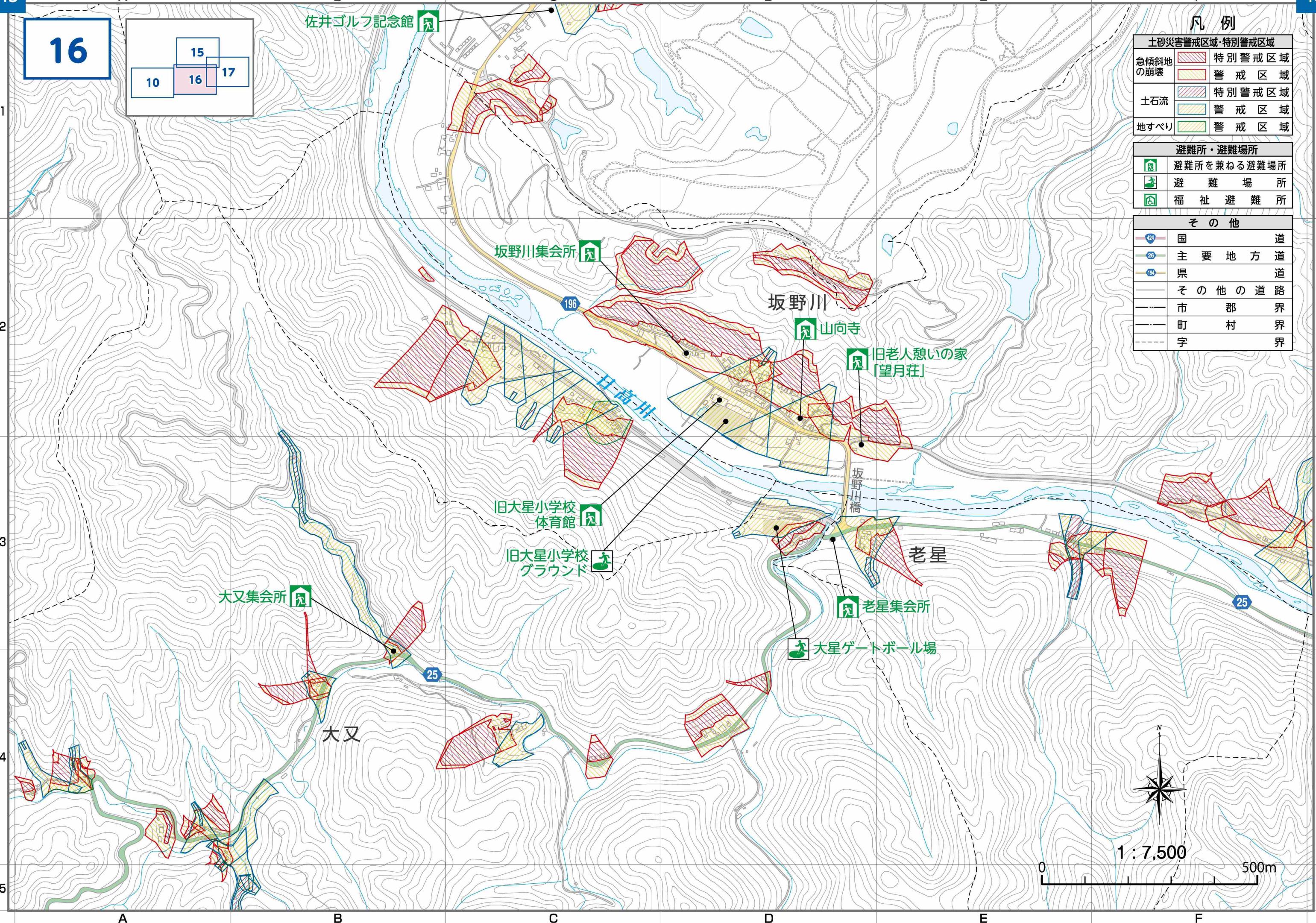
F

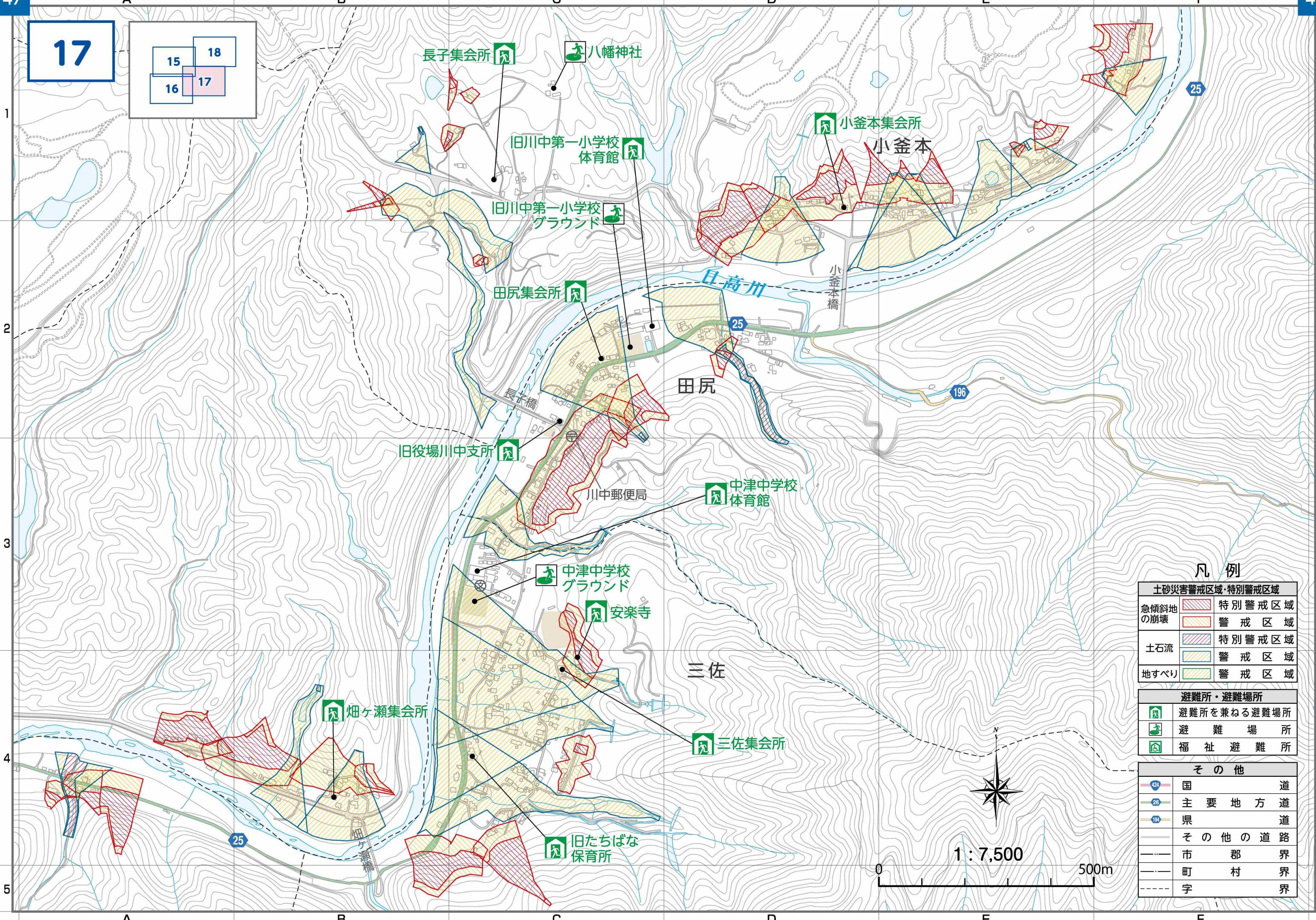


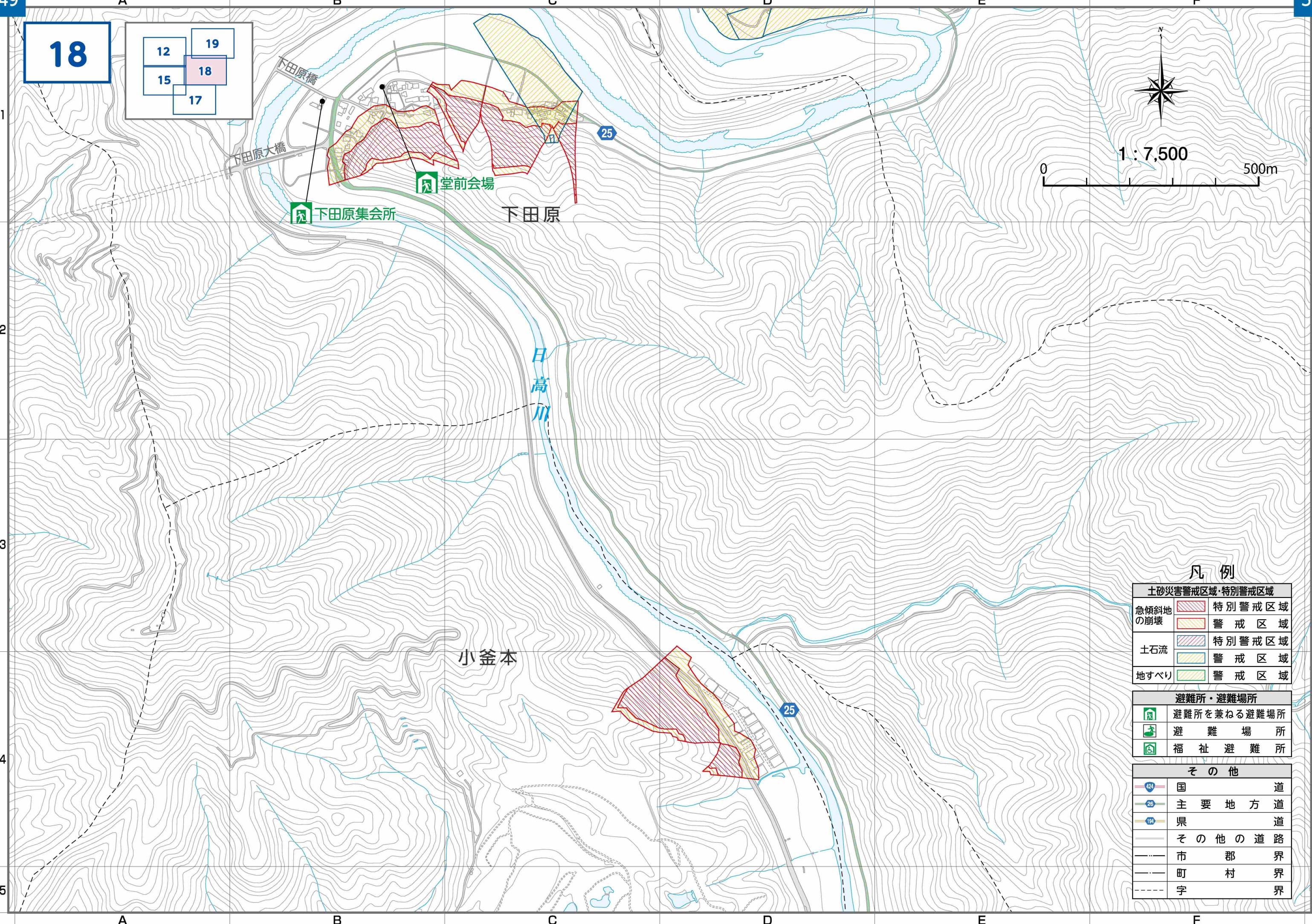












A

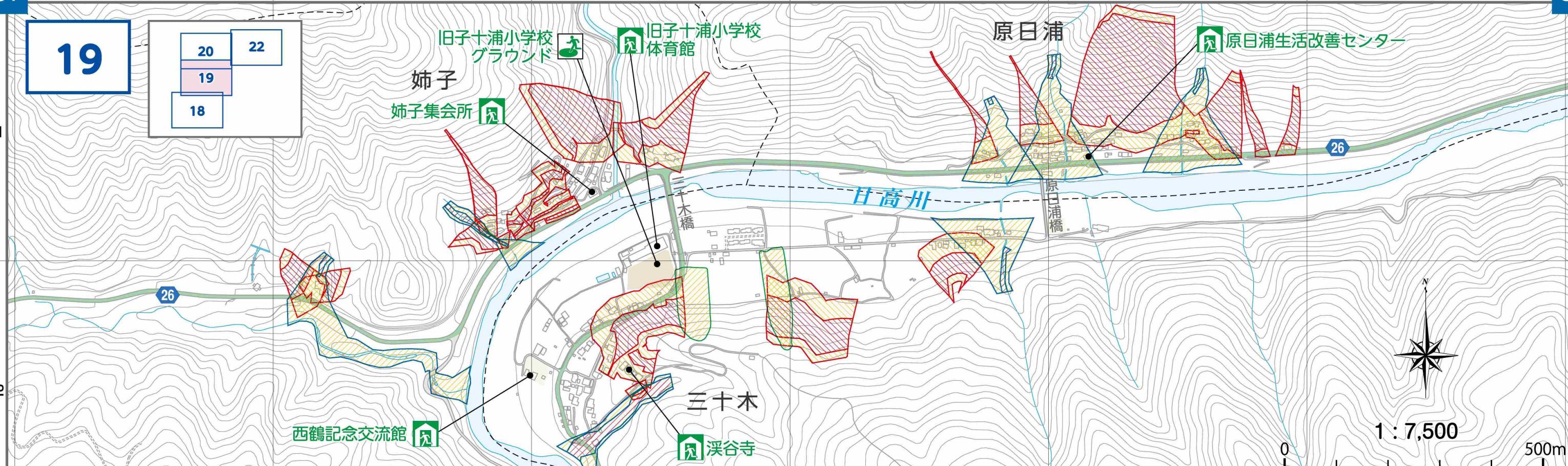
B

C

D

E

F

**凡例**

土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
土石流	警戒区域
地すべり	警戒区域

避難所・避難場所	
避難所を兼ねる避難場所	□
避 難 場 所	△
福 祉 避 難 所	○

その他の	
国 道	19
主要地方道	26
県 道	194
その他の道路	---
市 郡 界	- - -
町 村 界	- - -
字 界	- - -

A

B

C

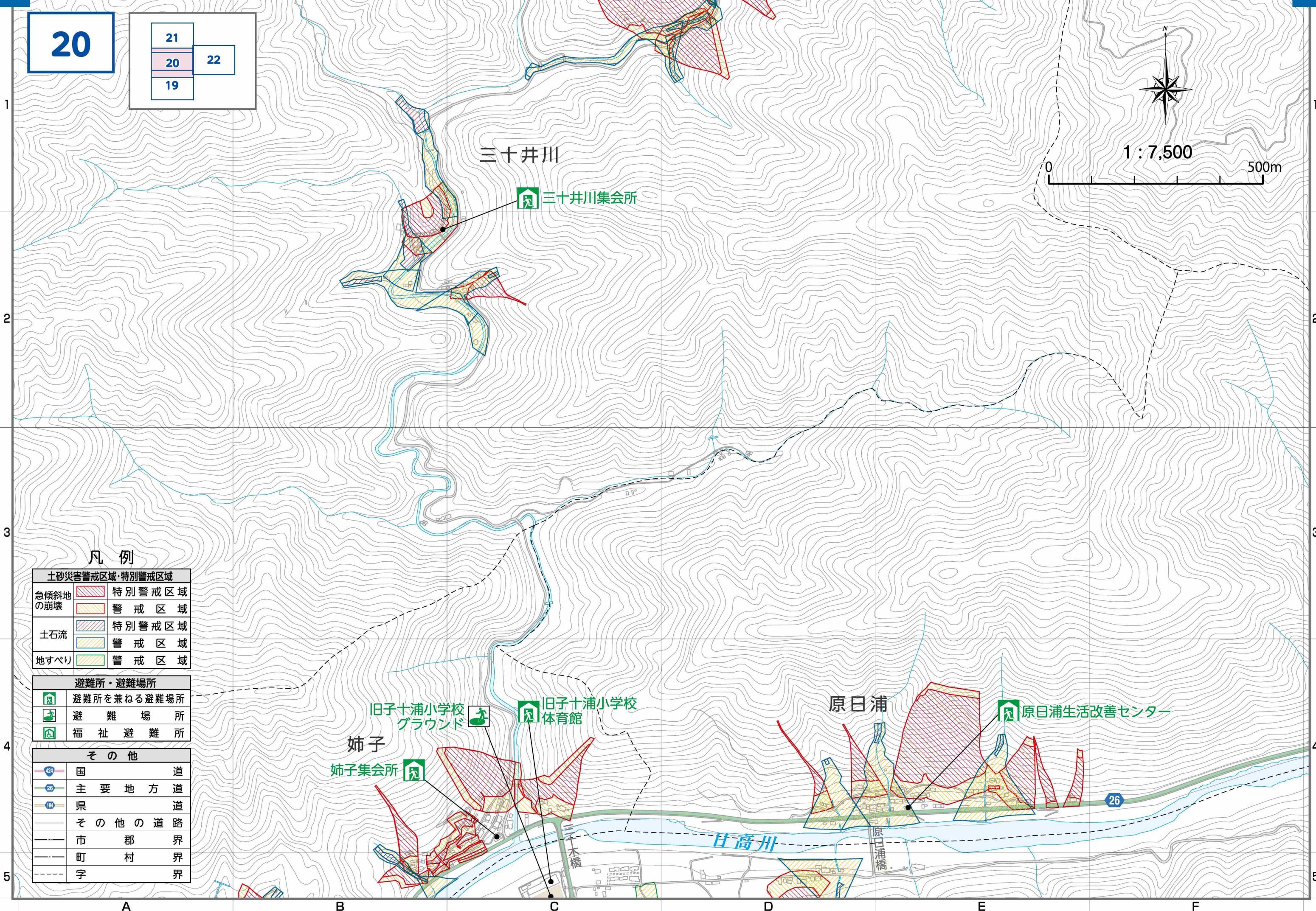
D

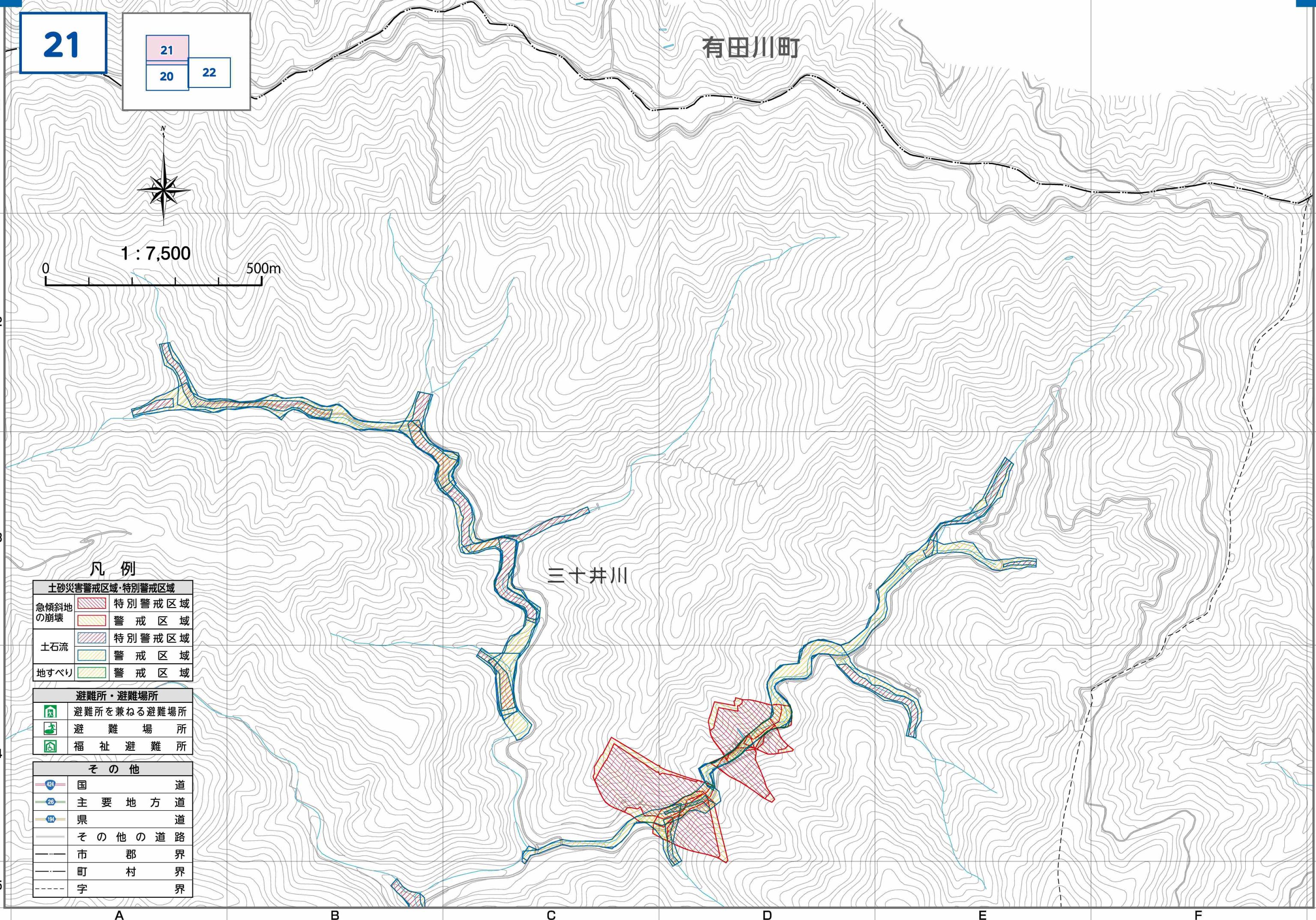
E

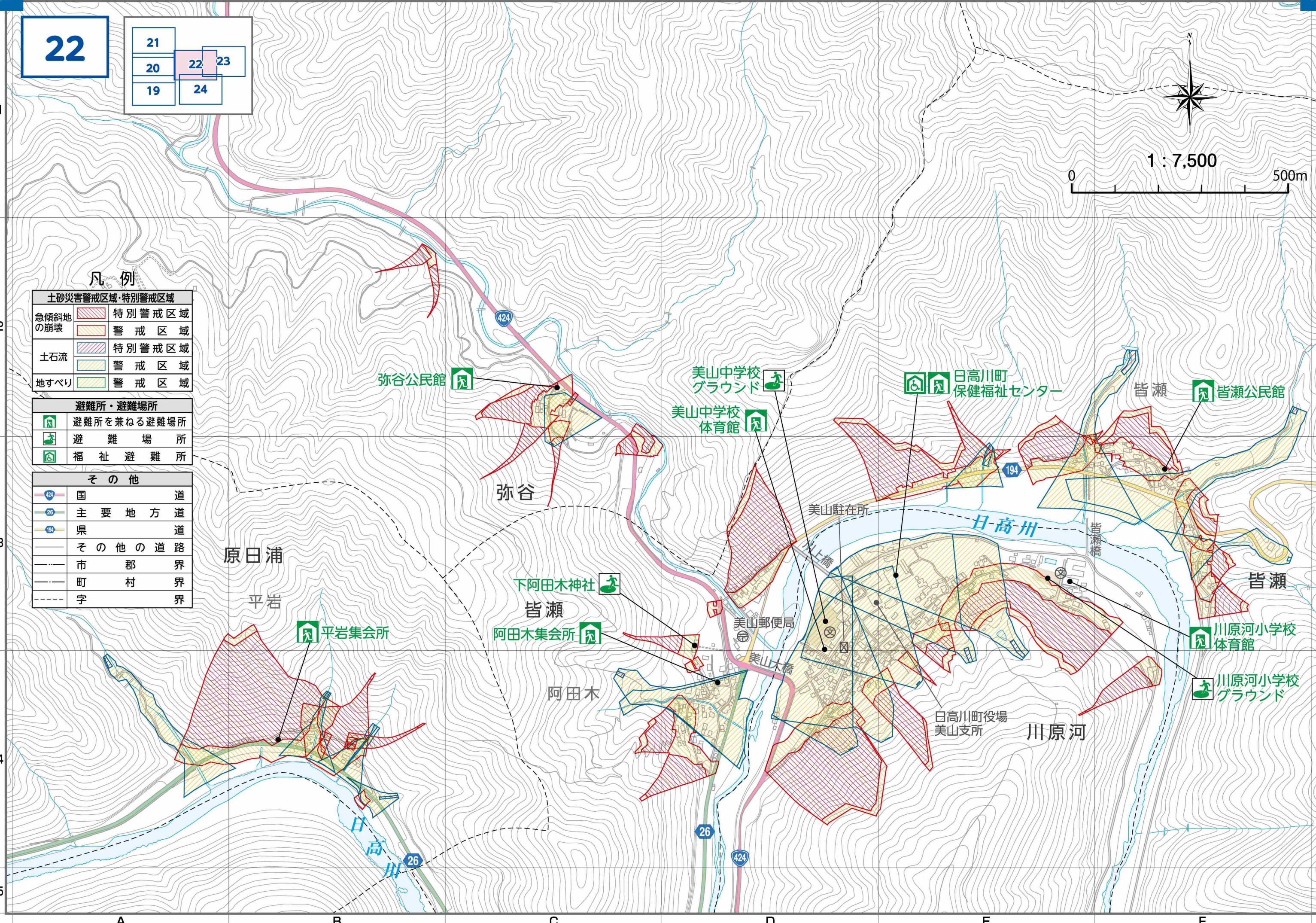
F

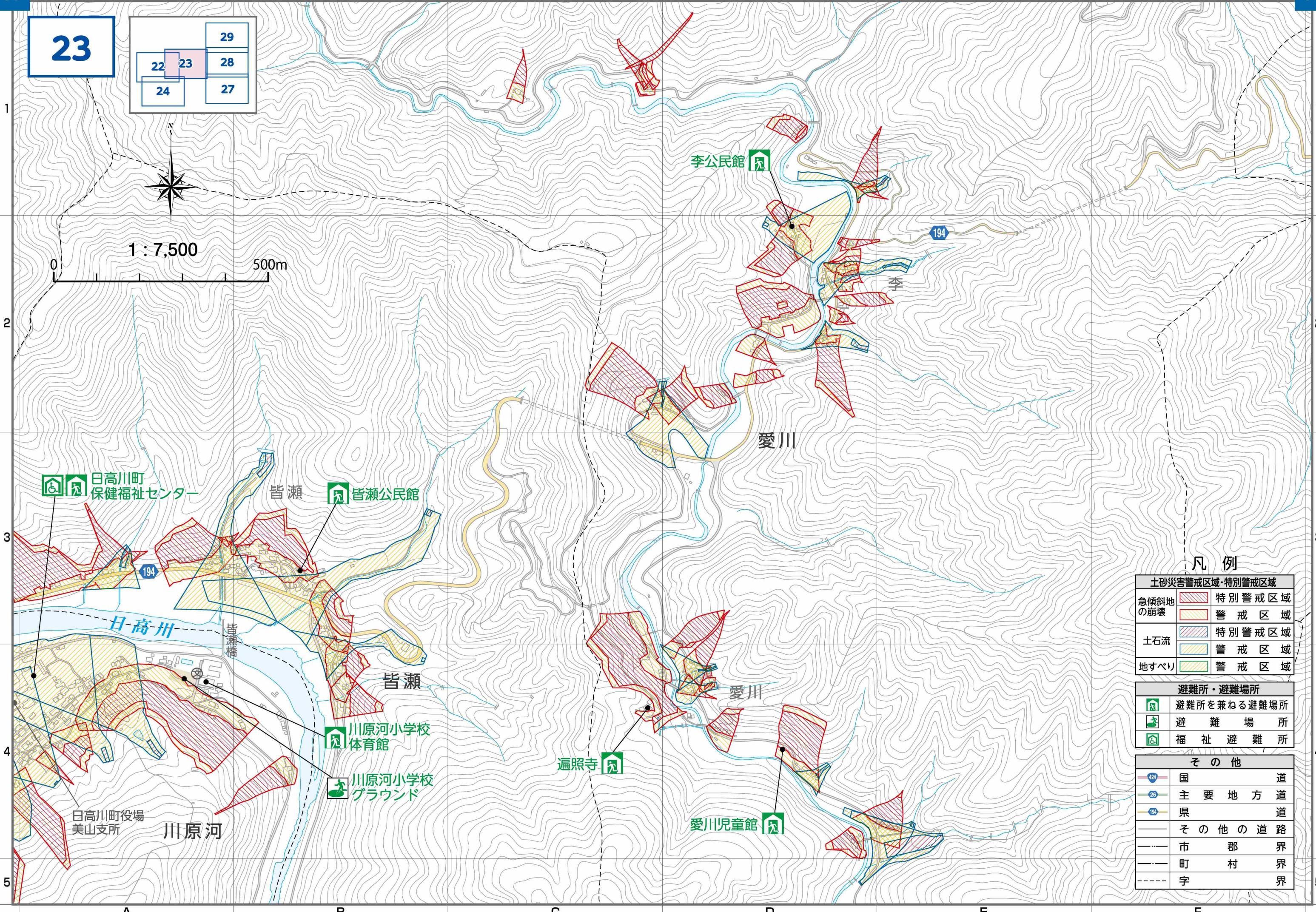
20

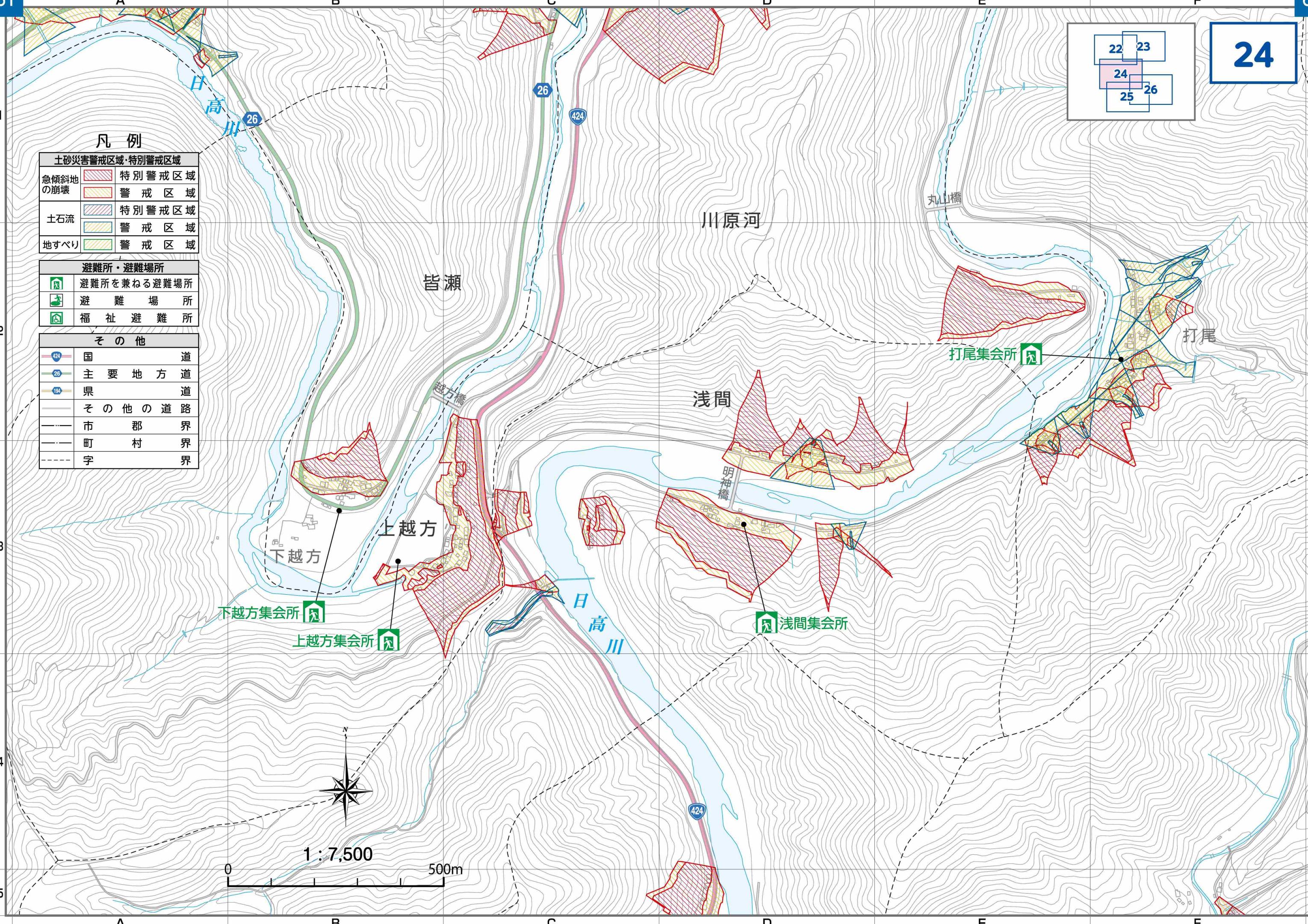
21
20
19











A

B

C

D

E

F

25

24
25
26

凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
土石流	特別警戒区域
地すべり	警 戒 区 域

避難所・避難場所	
△	避難所を兼ねる避難場所
△	避 難 場 所
□	福 祉 避 難 所

その 他	
424	国 道
26	主 要 地 方 道
194	県 道
---	そ の 他 の 道 路
---	市 郡 界
---	町 村 界
---	字 界

熊野川生活改善センター

日高川

熊野川

友渕

上ノ段

下村

楠木橋

平和橋

笠松橋

笠松大橋

1 : 7,500

500m

A

B

C

D

E

F

笠松小学校
グラウンド笠松小学校
体育館

滝頭集会所

滝頭

滝頭郵便局

平集会所
平スポーツセンター
愛口集会所

愛口

介護老人福祉施設
美山の里初湯川
林松寺

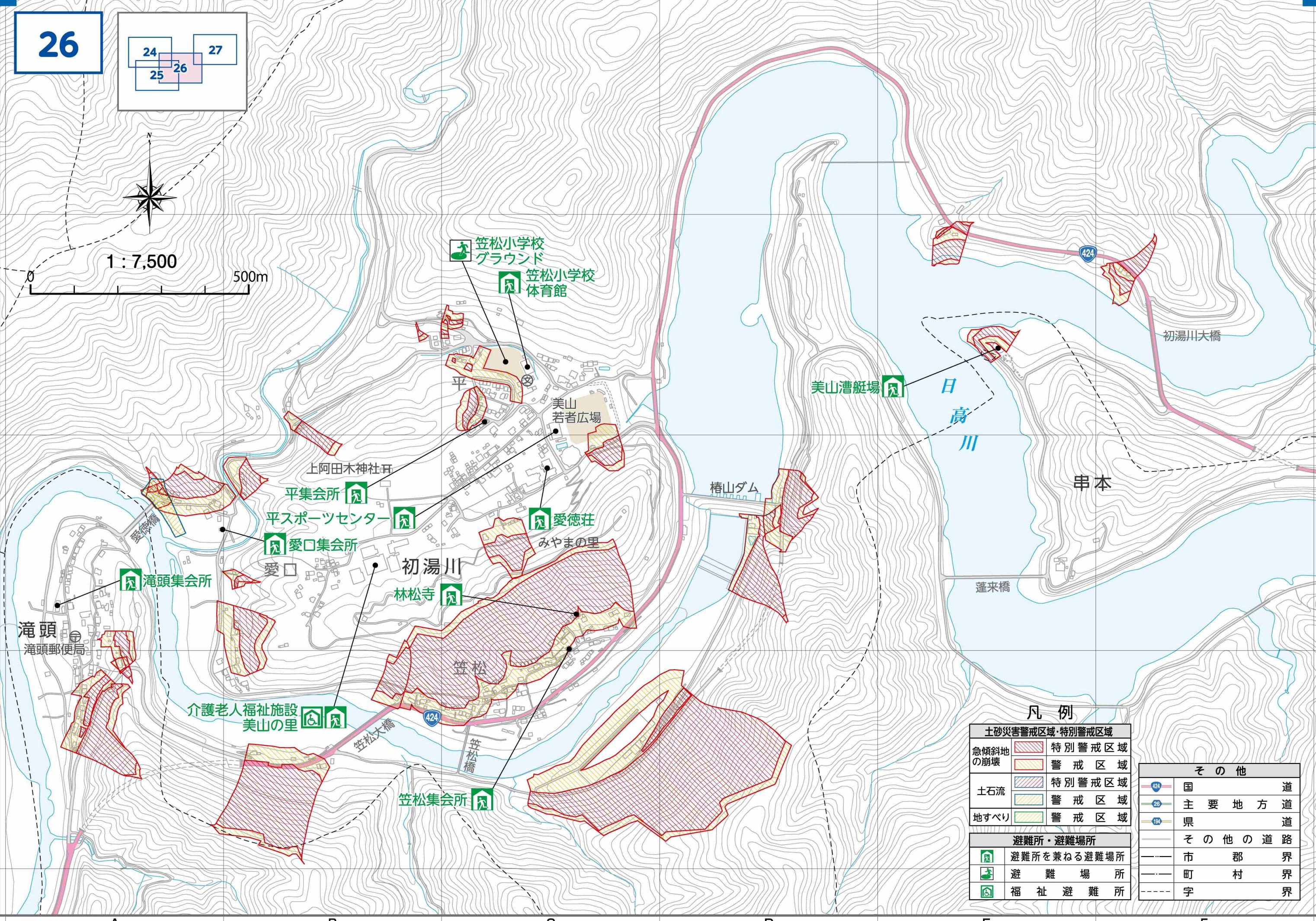
笠松

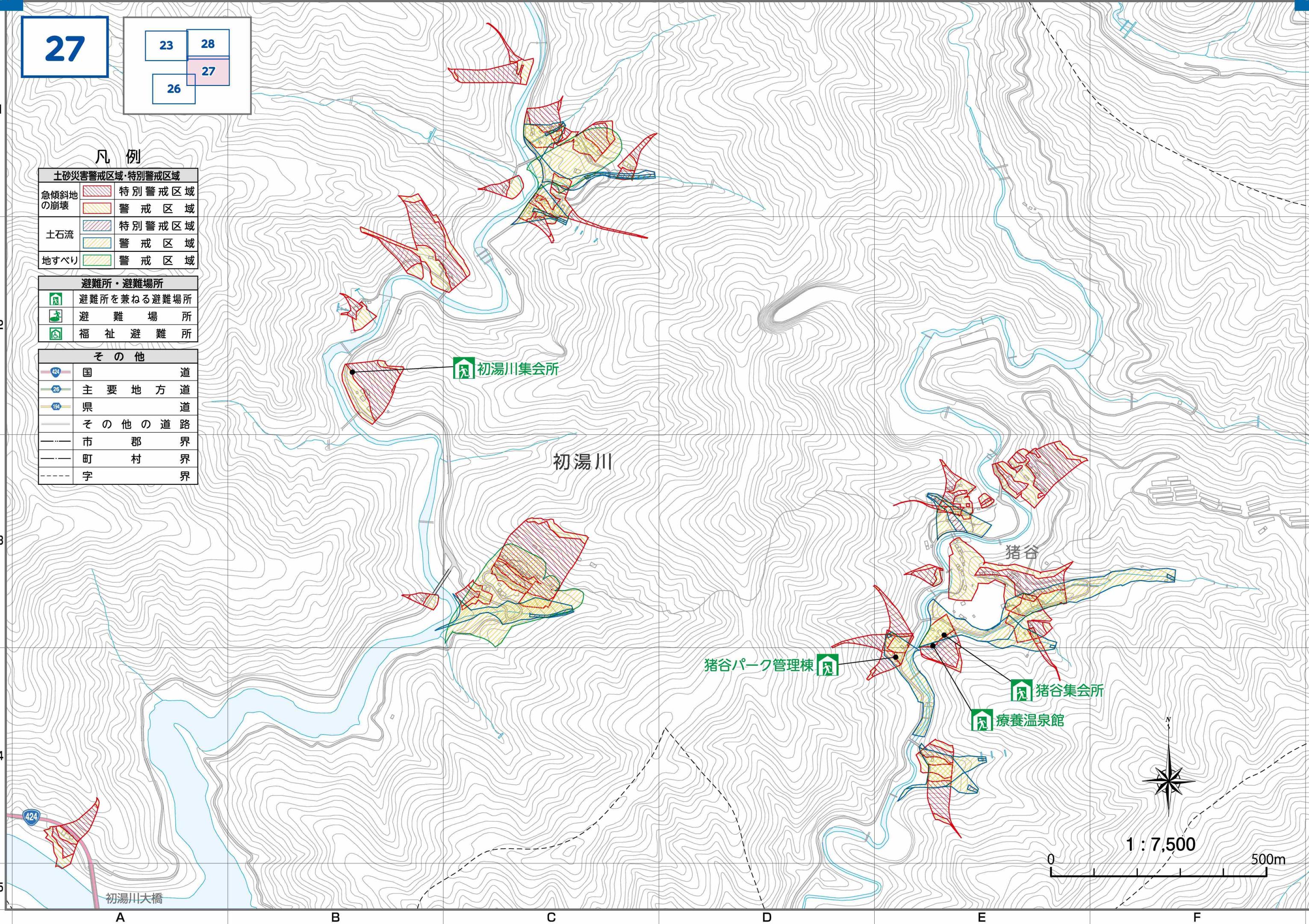
笠松大橋

笠松

笠松集会所

笠松





A

B

C

D

E

F

28

29
28
27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

27

23

28

A

B

C

D

E

F

29

29

23

28

凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
土石流	特別警戒区域
地すべり	警 戒 区 域

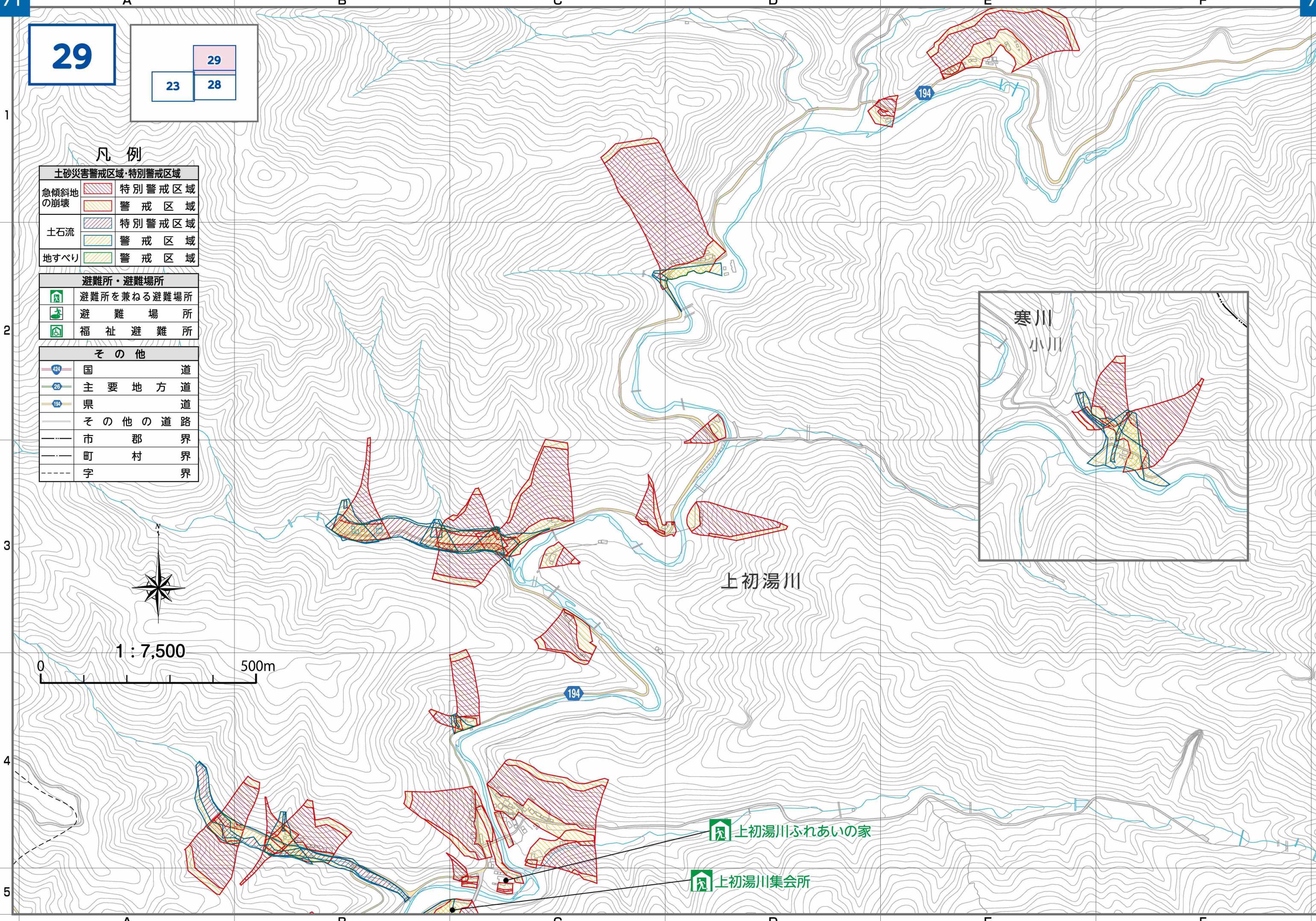
避難所・避難場所	
避 難 所 を 兼 む 避 難 場 所	
避 難 場 所	
福 祉 避 難 所	

その 他	
424	国 道
26	主 要 地 方 道
194	県 道
	そ の 他 の 道 路
—	市 郡 界
—	町 村 界
---	字 界



1 : 7,500

500m



A

B

C

D

E

F

30

31

30

32

凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

急傾斜地の崩壊

特別警戒区域

土石流

警 戒 区 域

地すべり

警 戒 区 域

避難所・避難場所

避難所を兼ねる避難場所

避 難 場 所

福祉避難所

その 他

国 道

道

主要地方道

道

県 道

道

その他の道路

道

市 郡 界

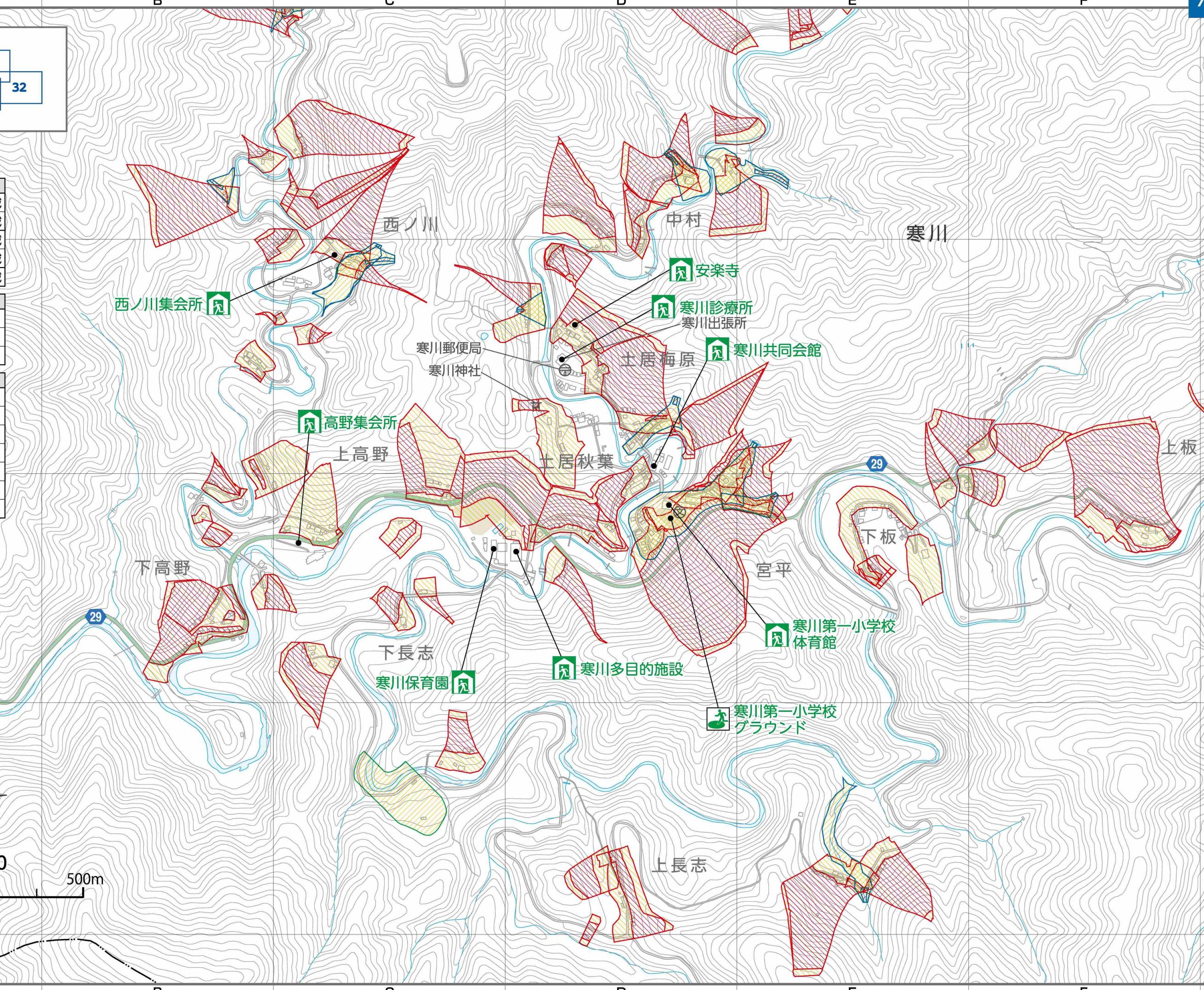
界

町 村 界

界

字 界

界



A

B

C

D

E

F

31

31

30

32

凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
土石流	特別警戒区域
地すべり	警 戒 区 域

避難所・避難場所	
避 難 所 を 兼 む 避 難 地	避 難 所
避 難 地	避 難 場 所
福 祉 避 難 所	福 祉 避 難 所

その 他	
424	国 道
26	主 要 地 方 道
184	県 道
—	そ の 他 の 道 路
—	市 郡 界
—	町 村 界
---	字 界

